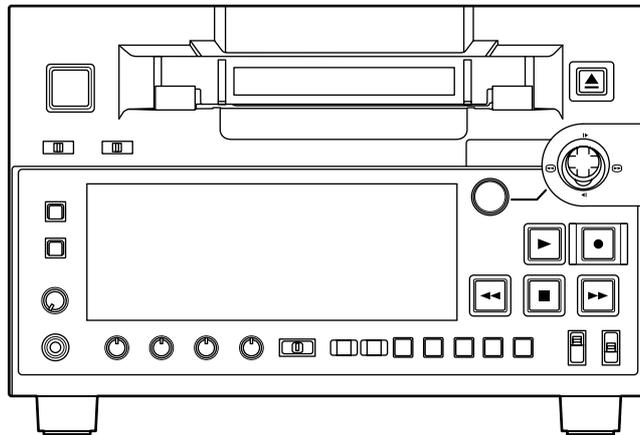


取扱説明書

デジタル ビデオカセットレコーダー

DVCPRO 50

品番 AJ-SD93



このたびは、デジタル ビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(3~6ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ

安全上のご注意	3
概要	7
付属品	7
オプションボードについて	7
特長	8
各部の名称と機能	9
・ フロントパネル	9
・ 表示パネル	12
・ リアパネル	13
テープについて	14
IEEE1394デジタルインターフェース	15
サーチスティック	16
PF (Programmable Function) 機能	16
・ PFボタンへの登録	16
・ PFボタンでの操作	16
リピート再生	17
セットアップ (初期設定)	18
セットアップメニュー	19
・ SYSTEMメニュー	21
・ USERメニュー	22
<BASIC>	22
<OPERATION>	24
<INTERFACE>	25
<TAPE PROTECT>	26
<TIME CODE>	27
<VIDEO>	29
<AUDIO>	30
<V BLANK>	32
<DIF>	33
<MENU>	34
タイムコード/ユーザズビットについて	35
スーパーインポーズ画面	36
ビデオヘッドクリーニング	37
結露	37
お手入れについて	37
エラーメッセージ	38
定格	43
保証とアフターサービス	45

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

設置・運搬について

不安定な場所に置かない！  落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。 禁止	電源コードや接続コードに重いものを載せない！  本機の下敷きにならないよう注意してください。 コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。 禁止
コンセントや配線機器の定格を越えて使用しない！  たこ足配線等で定格を越えると、発熱による火災の原因になります。 禁止	付属品・オプションは、指定の製品を使用する！  本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

使用方法について

本機の上に水などの液体の入った容器、小さな金属物を置かない！  機械内部に入ると、故障や事故を起こす原因になります。 禁止	機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！  火災や感電の原因になります。 禁止
--	---

安全上のご注意 (つづき)

警告

使用方法について

本機を改造しない！



分解禁止

火災や感電の原因になります。

表示された電源電圧以外は使用しない！



禁止

火災や感電の原因になります。

機器が濡れたり、水などの液体が入らないようにする！



火災や感電の原因になります。
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、
特にご注意ください。

電源プラグは、根元まで確実に差し込む！



火災や感電の原因になります。
痛んだプラグやゆるんだコンセント
のまま使用しないでください。

水場で使用しない！



火災や感電の原因になります。

電源コード・電源プラグが破損する ようなことはしない！

傷つけたり、加工したり、高温部に
近づけたり、無理に曲げたり、ねじ
ったり、引っ張ったり、重いものを
載せたり、束ねたりしない！



禁止

痛んだまま使用すると、感電・シ
ョート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

指定のカバー以外は外さない！



分解禁止

感電の原因になります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

お手入れについて

電源プラグのほこりなどは、定期的 にとる！



プラグにほこりがたまると、湿気等
で絶縁不良となり、火災や感電の原
因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

安全上のご注意 (つづき)

警告

異常時の処理について

本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などの液体が入った場合は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

注意

設置・運搬について

油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない！



禁止

火災や感電の原因になる恐れがあります。

持ち上げるときや移動させるときには、十分注意する！



落としたりすると、けがをする恐れがあります。

- 10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなどして、慎重に取り扱ってください。

本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグが簡単に手が届くようにする！



異常や故障が発生した際に、すぐに電源プラグが抜けるようにしてください。(本機を電源から完全に遮断するには電源プラグを抜く必要があります。)

本機の通風孔をふさがない！



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。

- 風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

使用方法について

本機の上に重いものを置かない！



禁止

バランスがくずれて落下し、けがをする恐れがあります。

プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない！



禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。

本機に乗らない！



禁止

倒れたり壊れたりして、けがをする恐れがあります。

•必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！



コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く！



電源プラグを抜く

火災の原因になる恐れがあります。

カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する！



指に注意

けがをする恐れがあります。

電源コードを熱器具に近づけない！



禁止

コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。

お手入れについて

お手入れの際は、電源スイッチを切り、電源 (プラグ) を抜く！



電源プラグを抜く

火災や感電の原因になる恐れがあります。

1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。

概要

本機は1/4インチ幅の小型カセットテープを使用し、映像記録レート50 Mbpsの高画質の記録・再生ができ、DVCPRO (25 Mbps) フォーマットの記録・再生、および、民生DV/DVCAMテープの再生も可能なマルチパスのデジタルVTR です。

また、次のような特長があります。

- デジタル圧縮技術を採用した高画質VTRで、ダビング時の画質・音声の劣化が大幅に少なくなっています。
- IEEE1394インターフェースを標準装備しており、IEEE1394規格に準拠して、ビデオやオーディオ信号、そしてタイムコード信号をデジタルで、デジタルVTRなどに伝送できます。

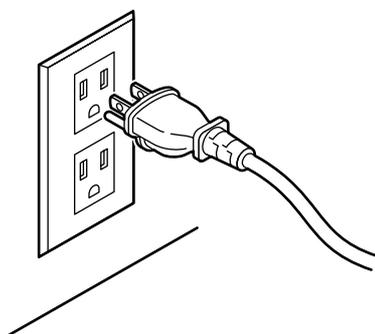
- 小型・軽量設計になっていますので、持ち運びにも負担が軽く、ラックへの設置も楽に行えます。

付属品

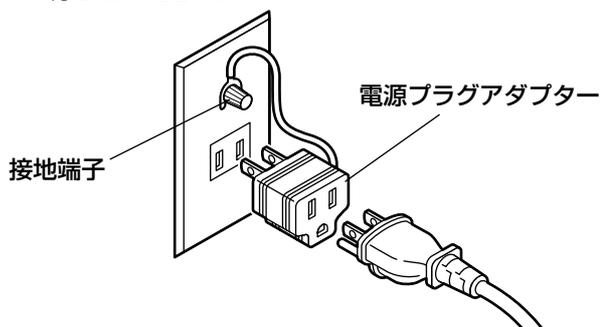
電源コード (3芯) 1

電源プラグアダプター 1

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



- 2ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。



- 本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

オプションボードについて

- アナログインターフェースボード：
AJ-YA93
- SDI インターフェースボード：
AJ-YA94G

オプションボードは、必ず上記の製品を使用して下さい。

特長

■ 小型・軽量

本機は1/4インチ幅のカセットテープを使用したDVCPRO50デジタルVTRです。小型・軽量設計されていますので、ノンリニア編集へのフィーダーや卓上でのビューアなどに適しています。

■ 最大92分記録

使用するカセットテープは、Mカセット（最大33分：AJ-5P33MP使用時）とLカセット（最大92分：AJ-5P92LP使用時）です。テープ幅は1/4インチのコンパクト設計になっています。

■ 高画質

DVCPROの2倍の記録レートを持った4:2:2 コンポーネント信号記録により高画質を実現しています。

■ 4チャンネルの高音質デジタルオーディオ

4チャンネルのPCMオーディオを記録・再生可能です。（本機はCUEの記録・再生には対応していません。）

■ IEEE1394デジタル入出力

IEEE1394デジタルインターフェースを標準装備していますので、画質劣化することなくDVCPRO50/DVCPRO/DVの圧縮デジタルビデオ/オーディオ信号を入出力することができます。

■ DVCPRO (25 Mbps) フォーマットとの互換

DVCPRO (25 Mbps) フォーマットの記録・再生ができます。

■ 民生機器との互換

民生機器のデジタルカメラ等で撮影した民生用DVカセットテープを再生することができます。ミニDVカセットテープを使用する場合、カセットアダプター（AJ-CS455P）が必要になります。

■ デジタルスローモーション

パナソニック独自のデジタルスロー技術により、-0.43~+0.43倍速でのスロー再生でも、クリアな画像が再生できます。（DVCPRO、DVCPRO50のみ）

■ サーチスティック

サーチスティック（スティックコントローラ）を装備しています。サーチ等の可変速再生を、サーチスティックを用いて操作します。また、オンスクリーンメニュー/タイムコードジェネレータの設定もこのサーチスティックを用いて容易にできるようになっています。

■ PF(Programmable Function) ボタン

3つのPFボタンを装備しています。頻繁に使用するセットアップメニューから3つを自由に選択してフロントのボタン操作でメニュー設定値の変更をすることが可能となっています。

■ UMID情報の記録・再生

SMPTE 330M規格のUMID (Unique Material Identifier) 情報の記録・再生に対応しています。UMID情報は、ダイアグメニューで確認することができます。

UMID情報の記録・再生に対応していないVTRでは、UMID情報を正しく再生することができません。また、UMID情報の記録・再生に対応していないVTRを本機に接続して記録を行っても、UMID情報を正しく記録することができません。

■ タイムコード

本機は、TCG (タイムコードジェネレーター) /TCR (タイムコードリーダー) を内蔵しています。タイムコードは、内部タイムコードの他に、アナログインターフェースボード (オプション: AJ-YA93) を使用すると、外部タイムコード入力または入力信号のVITCを、タイムコードとして本機に記録することが可能です。

■ 多機能なインターフェース

● シリアルデジタル入出力

SDIインターフェースボード (オプション: AJ-YA94G) を使用すると、シリアルデジタルコンポーネント信号のインターフェースが行えます。

● アナログビデオ・オーディオ入出力

アナログインターフェースボード (オプション: AJ-YA93) を使用すると

- ・ コンポジットビデオ入出力
- ・ コンポーネントビデオ入出力
- ・ レファレンスビデオ入力 (BNC入力 x 1 ループスルー x 1)
- ・ アナログオーディオ入出力
 - 入力: XLR4ch 出力: XLR4ch
- ・ タイムコード入出力 (BNC 入出力各1)
- ・ 9ピンコントロール入力 (RS-422)

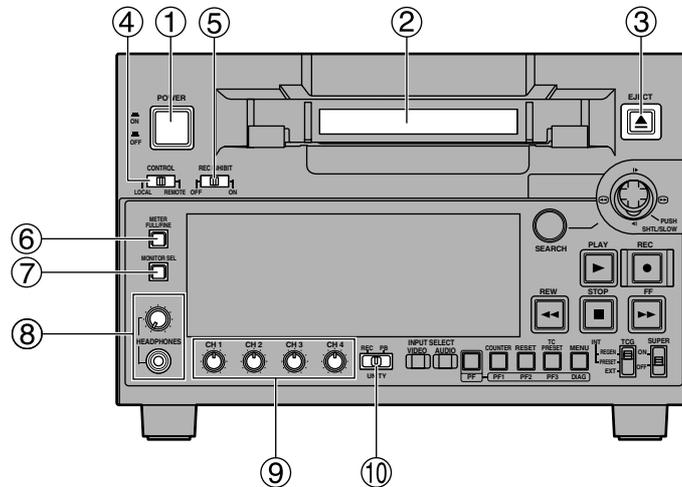
が利用可能となります

■ メニュー方式のセットアップ

本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機のディスプレイまたはモニターテレビのセットアップメニューを見ながら行います。

各部の名称と機能

フロントパネル



① POWERスイッチ

② カセット挿入口

③ EJECTボタン

押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットが排出されます。カウンター表示部がCTL表示のときは、表示がリセットされます。EJECTボタン操作の許可/禁止をセットアップメニューNo.115 (EJECT SW INH) により選択できます。

④ CONTROLスイッチ

REMOTE端子を使って、外部から本機をコントロールするときに切り替えます。

REMOTE : 9ピンのREMOTE、IEEE1394のAV/Cコマンドを使って本機をコントロールするとき、この位置にします。

LOCAL : 本機の操作パネルで本機をコントロールするときにこの位置にします。

⑤ REC INHIBITスイッチ

カセットテープへの記録の禁止/許可を選択します。

ON : カセットテープへの記録を禁止します。このとき、表示パネルのREC INHランプが点灯します。

OFF : カセットテープの誤消去防止機構が記録可能のときに、カセットテープへの記録が可能です。

⑥ METER (FULL/FINE) 切り替えボタン

オーディオレベルメーターのスケール表示 (目盛) を切り替えるボタンです。

FULLモード : 標準目盛りになります。 ($-\infty \sim 0$ dBの範囲)

FINEモード : 0.5 dBごとのスケールになります。
■の位置が基準レベルの -20 dBとなります。(12ページ参照)

⑦ MONITOR SELボタン

AUDIO MON L/R端子に出力する音声信号を切り替えます。ボタンを押すごとに、AUDIO MON L/R端子に出力する信号は

L : [CH1] → [CH3] → [CH1] → [CH2] → [CH3] → [CH4]
R : [CH2] → [CH4] → [CH1] → [CH2] → [CH3] → [CH4]
→ [CH1+CH2] → [CH3+CH4]
→ [CH1+CH2] → [CH3+CH4]

と切り替わります。

現在、どの信号を選択しているかを、レベルメーター表示部のL/Rランプの点灯で表示しています。

⑧ ヘッドホンジャック/音量調整つまみ

ヘッドホンジャックにステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生中の音声を、ヘッドホンでモニターできます。

⑨ オーディオレベルコントロールつまみ

PCMオーディオ信号 (CH1/CH2/CH3/CH4) の記録レベルと再生レベルを調整するつまみです。オーディオレベルコントロール切り替えスイッチ⑩で記録レベルの調整と再生レベルの調整を切り替えます。

ノート :

IEEE1394デジタル入出力のオーディオレベルを調整することはできません。

⑩ オーディオレベルコントロール切り替えスイッチ

UNITY : オーディオレベルコントロールつまみ⑨の位置に関係なく、固定されたレベルでオーディオ信号を記録・再生します。

REC : オーディオレベルコントロールつまみ⑨で調整されたレベルでオーディオ信号を記録します。

PB : オーディオレベルコントロールつまみ⑨で調整されたレベルでオーディオ信号を再生します。

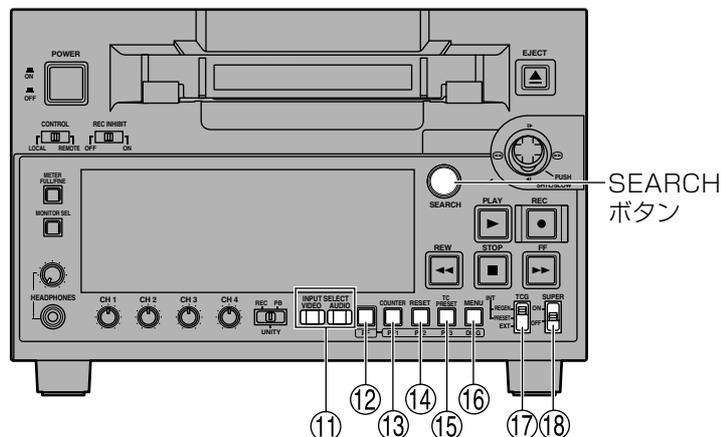
ノート :

記録レベルと再生レベルの両方を可変モードにすることはできません。

REC選択時は、再生レベルがUNITY (固定レベル) になり、PB選択時は、記録レベルがUNITYになります。

各部の名称と機能 (つづき)

フロントパネル



⑪ INPUT SELECTボタン

ビデオとオーディオの入力信号を切り替えます。また、入力信号は、セットアップメニューNo.600 (INT SG) で選択された内部基準信号に切り替えることもできます。

VIDEO : VIDEO ボタンを押す毎に、入力ビデオ信号が、[Y PB PR] → [CMPST] → [SDI] → [1394] → [SG] の順に切り替わり、選択されます。

- SGのときの信号は、セットアップメニューNo.600 (INT SG) で選択された内部基準信号に切り替わります。

AUDIO : AUDIOボタンを押す毎に、入力オーディオ信号が、[ANALOG] → [SDI] → [1394] → [SG] の順に切り替わり、選択されます。

ノート:

- INPUT SELECTボタンで行う入力切り替え (ビデオとオーディオ) は、セットアップメニューNo.112 (V IN SEL INH) とNo.113 (A IN SEL INH) により禁止することができます。
- VIDEOボタンのY PB PR、CMPSTと、AUDIOボタンのANALOGはオプションボード (AJ-YA93) が挿入されていないと選択できません。
- VIDEO/AUDIOボタンのSDIはオプションボード (AJ-YA94G) が挿入されていないと選択できません。

⑫ PFボタン

このボタンを押すとボタン⑬～⑮はそれぞれPF1、PF2、PF3ボタンとして動作します。他のボタンを押す前に再度このボタンを押すと、上記モードはキャンセルされます。

また、このボタンとMENU/DIAGボタン⑯を同時に押すと、DIAG画面が表示されます。

⑬ COUNTER/PF1ボタン

このボタンを押すごとに、表示パネルのカウンター表示がCTL→TC→UBと変化します。

⑭ RESET/PF2ボタン

CTLモードのときは、このボタンを押すとカウンター表示が [00:00:00:00] になります。

TC/UBモードのときは、TC PRESETボタン⑮を押しながらこのボタンを押すと、ジェネレーターをリセットします。

⑮ TC PRESET/PF3ボタン

TC/UB の値を設定するときに使用します。

⑯ MENU/DIAGボタン

このボタンを押すと、モニターテレビにはセットアップメニューを表示 (ただし、VIDEO MON端子を使用しているとき) し、本機の表示パネルにはセットアップメニュー番号を表示します。

再度押すと、セットアップメニューの設定から抜けだし、もとに戻ります。

PFボタン⑫を押しながらこのボタンを押すとVTRの情報を表示します。再度ボタンを押すと、もとの表示に戻ります。VTRの情報には、「WARNING」 「HOURS METER」 「UMID」 「DIF STATUS 1,2」の情報がありません。

これらの情報の表示切り替えは、SEARCHボタンを押すことによって行います。

「WARNING」画面では、ワーニングの内容を表示します。「HOURS METER」画面では、デッキのシリアルNo.、通電時間、ドラムの回転時間、テープ走行時間、ローディング回数・電源の入切回数等を表示します。「UMID INFO」画面では、UMID (Unique Material Identifier) の情報を表示します。「DIF STATUS 1,2」画面ではIEEE1394デジタルインターフェースの情報を表示します。

⑰ TCGスイッチ

REGEN : タイムコードリーダーがテープから読んだタイムコードに内蔵タイムコードジェネレーターが同期します。リジエネを行う信号は、セットアップメニューNo.503 (TCG REGEN) で選択します。

PRESET : 操作パネルまたは、リモートコントロールでプリセットが可能になります。(35ページ参照)

EXT : タイムコード入力端子もしくは、映像信号のVITCおよびIEEE1394デジタル入力信号から入力する外部タイムコードを使用します。選択はセットアップメニューNo.505 (EXT TC SEL) で設定します。

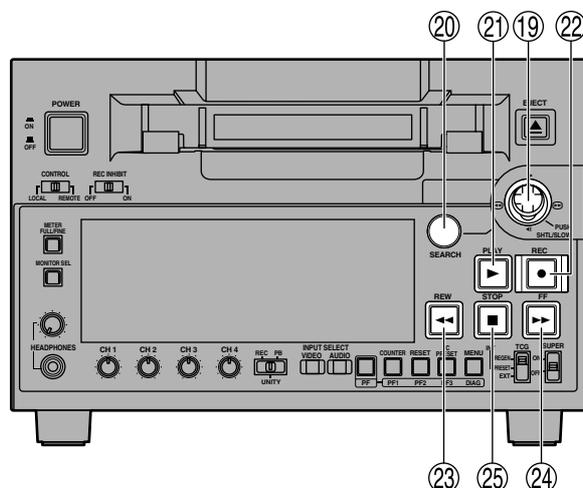
⑱ SUPERスイッチ

ON : VIDEO MON端子にタイムコード等のスーパーを出力します。

OFF : スーパーを出力しません。

各部の名称と機能 (つづき)

フロントパネル



①⑨ サーチスティック

シャトル／スローなど可変速再生に使用します。
またメニュー設定等にも使用します。
上下左右の操作とスティック自身を押す操作が可能です。

②⑦ SEARCHボタン

押すと、サーチモードになります。

②⑧ PLAYボタン

押すと、再生が始まります。
このボタンとRECボタンを同時に押すと記録が始まります。

②⑨ RECボタン

このボタンとPLAYボタンを同時に押すと、記録が始まります。
再生、サーチ、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押している間、E - E モードの画像と音声信号をモニターすることができます。(再生中に押すとサーチが乱れます。)
ストップモード中にこのボタンを押すと、E - Eモードの画像と音声をモニターできます。STOPボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。

③③ REWボタン

押すと、テープを巻き戻します。
速度は、セットアップメニューNo.102 (FF.REW MAX) で選択できます。

③④ FFボタン

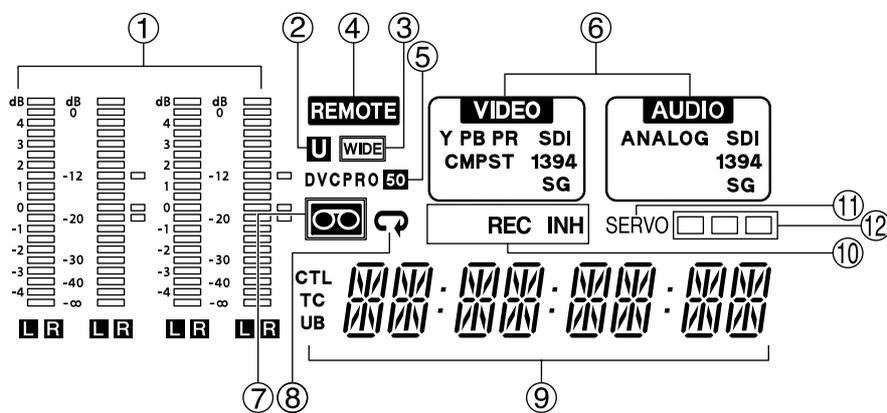
押すと、テープを早送りします。
速度は、セットアップメニューNo.102 (FF.REW MAX) で選択できます。

③⑤ STOPボタン

押すとテープ走行が停止し、セットアップメニューNo.122 (STOP EE SEL) が「TAPE」のときには静止画をモニターすることができます。
ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。
ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモード、またはSTEP FWDモードになります。(セットアップメニューNo.400～403で設定) 本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。

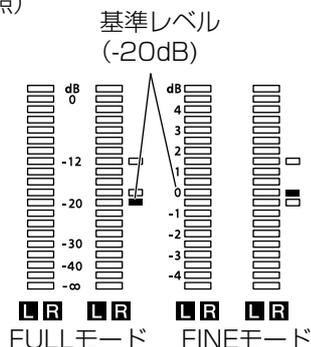
各部の名称と機能 (つづき)

表示パネル



① レベルメーター

PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4の各レベルを表示します。
オーディオ信号は、記録時およびE-E選択時には入力信号のレベルを表示し、再生時には出力信号の各レベルを表示します。
オーディオレベル表示は、METER切り替えボタン⑥でFULLモードとFINEモードに切り替わります。(9ページ参照)



② Uランプ

E-Eモードのときは、入力信号にUMID情報が存在しているときに点灯します。
テープ再生時は、テープ上にUMID情報が記録されているときに点灯します。

③ WIDEランプ

16:9のワイド画面情報をテープに記録するときに点灯します。
セットアップメニューNo.645 (WIDE SELECT)で、ワイド画面情報の記録を選択することができます。
テープ再生時は、テープ上にワイド画面情報が記録されているときに点灯します。

④ REMOTEランプ

CONTROLスイッチを、REMOTEにしたときに点灯します。

⑤ フォーマット表示

記録フォーマットや挿入されているテープのフォーマットが表示されます。

⑥ INPUT SELECT表示部

選択された入力信号に対応する文字部が点灯します。
アナログオーディオを除き、選択された入力信号がない場合は、点滅してお知らせします。

VIDEO

Y PB PR : アナログ・コンポーネント・ビデオ信号 (オプション)

CMPST : アナログ・コンポジット・ビデオ信号 (オプション)

SDI : シリアル・デジタル・ビデオ信号 (オプション)

1394 : IEEE1394デジタル信号
SG : 内部基準信号

AUDIO

ANALOG : アナログ・オーディオ信号 (オプション)

SDI : シリアル・デジタル・オーディオ信号 (オプション)

1394 : IEEE1394デジタル信号
SG : 内部基準信号

⑦ ランプ

本機にカセットテープが挿入されているときに、このランプが点灯します。
スタンバイOFFモードのときは、点滅します。

⑧ リピートランプ

リピート再生モードが設定されているときに点灯します。

⑨ カウンター表示

テープカウンターやタイムコード等を表示します。
表示している値の種類は、CTL/TC/UBで表示します。

⑩ REC/REC INHランプ

REC : 記録状態のときに点灯します。
REC INH : 記録禁止状態 (フロント上部のREC INHIBITスイッチ⑤が「ON」か、カセットが誤除去防止状態)のときに点灯します。
このときには、記録はできません。
カセットテープでの誤除去防止用ツメで記録禁止になっているときに、このランプを点灯または点滅させるかをセットアップメニューNo.114 (REC INH LAMP)により選択できます。

⑪ SERVOランプ

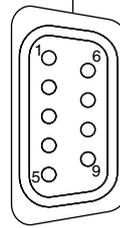
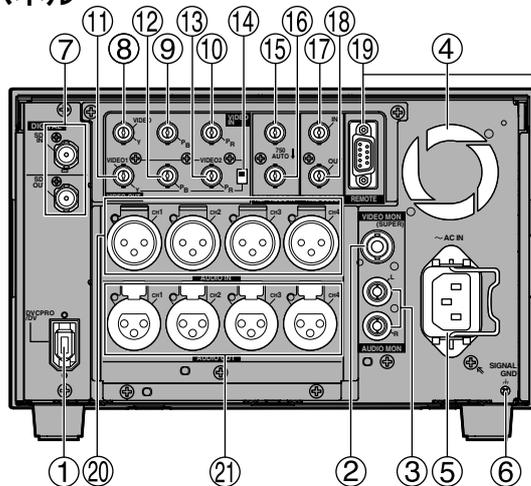
ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがともにロックすると点灯します。

⑫ チャンネルコンディションランプ

エラーレートの状態に応じて点灯します。(緑→白→赤)
緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好なときに点灯します。
白 : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化したときに点灯します。このランプが点灯しても、再生画と音声は正常です。
赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号が悪化し、修整/補間がかかったときに点灯します。

各部の名称と機能 (つづき)

リアパネル



ピン No.	信号内容
1	Frame Ground
2	Transmit A
3	Receive B
4	Receive Common
5	—
6	Transmit Common
7	Transmit B
8	Receive A
9	Frame Ground

① IEEE1394デジタル入出力端子

IEEE1394デジタルインターフェースでの入出力が行えます。コネクタは6ピンタイプを使用してください。バスパワーには対応していません。

② VIDEO MON端子

アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。スーパーを重ねたビデオ信号の出力ができます。スーパーのON/OFFは、フロントパネルのSUPERスイッチ⑱で選択します。

③ AUDIO MON (L/R)端子

PCMオーディオ信号 (CH1/CH2/CH3/CH4) からの再生信号を出力します。

④ ファン

本機の冷却用のファンです。ファンがなんらかの異常で停止したときには、カウンター表示部に「E-10」が表示されます。

⑤ AC INコネクタ

付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。

⑥ SIGNAL GND端子

ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。

⑦ SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT 端子 (オプション: AJ-YA94G)

SMPTE 259M-C規格に準拠した、デジタル・コンポジット・オーディオ/ビデオ信号を入力します。

ノート：
入力するデジタル・オーディオ信号は、ビデオ入力信号に同期している必要があります。同期していない場合、オーディオ出力信号にノイズが発生します。

⑧ ⑨ ⑩ ANALOG VIDEO IN端子 (オプション: AJ-YA93)

フロントパネルのINPUT SELECTボタンが「Y PB PR」のときはアナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。

「CMPST」のときはVIDEO/Y端子⑧を用いてアナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。

⑪ ⑫ ⑬ ANALOG VIDEO OUT端子 (オプション: AJ-YA93)

ANALOG VIDEO OUT切り替えスイッチ⑭が「Y PB PR」側 (下側) に設定されている場合はアナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。VIDEO1/VIDEO2側 (上側) に設定されているときは、アナログ・コンポジット・ビデオ信号を⑪と⑬の端子から2系統出力します。

⑭ ANALOG VIDEO OUT切り替えスイッチ (オプション: AJ-YA93)

ANALOG VIDEO OUT端子をコンポジット・ビデオ出力として使用する場合は「Y PB PR」側 (下側) に、コンポジット・ビデオ出力として使用する場合は「VIDEO1 VIDEO2」 (上側) に切り替えます。

⑮ REF VIDEO IN端子 (オプション: AJ-YA93)

リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。カラーバースト付きの信号を入力してください。

ノート：
リファレンス・ビデオ信号を入力しない場合、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用されることをお勧めします。リファレンス・ビデオ信号には、SCHが変動しない信号を使用してください。

⑯ REF VIDEO OUT端子 (オプション: AJ-YA93)

REF VIDEO IN端子⑮のループスルー出力端子です。本端子にケーブルを接続しない場合は、REF VIDEO IN端子⑮は自動的に75 Ω終端されます。ケーブルを接続すると、75 Ω終端は解除されます。

⑰ TIME CODE IN端子 (オプション: AJ-YA93)

外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。

⑱ TIME CODE OUT端子 (オプション: AJ-YA93)

再生時は再生タイムコードを出力します。記録時は、内蔵タイムコード・ジェネレーターの発生するタイムコードを出力します。

⑲ リモートコントロール端子 (オプション: AJ-YA93)

外部リモートコントローラーを接続して、外部から本機を操作することができます。

ノート：
• CONTROLスイッチ④は、REMOTEの位置にしてください。
• RS-422A インターフェース準拠ですが、編集関係の機能は動作しません。プレーヤーとしてお使いください。

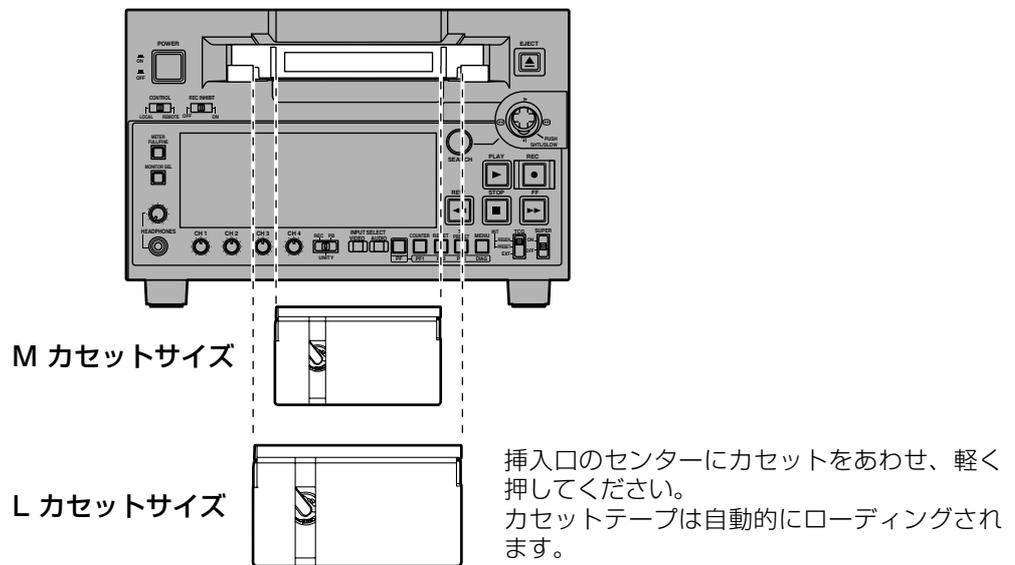
⑳ ANALOG AUDIO IN端子 (オプション: AJ-YA93)

アナログ・オーディオ信号を入力します。

㉑ ANALOG AUDIO OUT端子 (オプション: AJ-YA93)

アナログ・オーディオ信号を出力します。

テープについて



民生DV/DVCAMカセット (標準DV/DVCAMカセット、ミニDV/DVCAMカセット)

- ミニDV/DVCAMカセットテープを使用する場合は、カセットアダプター (AJ-CS455P) をご使用ください。カセットアダプターを使用せずにミニDV/DVCAMカセットテープを挿入すると、故障の原因となりますのでご注意ください。
ただし、長時間用ミニDVカセットテープ (標準モード80分/LPモード120分) は、使用することができませんのでご注意ください。
- LPモードで記録されたテープの再生はできません。
- 民生DV/DVCAMカセットテープに記録された素材を編集するときには、DVCPROのテープか、他の放送用VTRに記録してご使用ください。
- ミニDV/DVCAMカセットテープの最大送り速度は32倍速です。
- 民生DV/DVCAMカセットテープのスローモーション再生は画像が乱れる場合があります。
- テープ保護の観点から、民生DV/DVCAMカセットテープでの同じ箇所でのキューアップは、できるだけひかえて頂きますようお願いいたします。
- 民生DV/DVCAMカセットテープ使用時、STILL TIMERの最大時間は10秒に設定されています。

なお、民生用DVテープはパナソニックの民生用DVテープのご使用をお勧めいたします。

Mカセット

最大33分の記録・再生テープ
(AJ-5P23MP、AJ-5P33MP)

Lカセット

最大92分の記録・再生テープ
(AJ-5P63LP、AJ-5P92LP)

- AJ-5P92LPカセットテープにてDVCPRO(25M)で記録されたテープは、DVCPRO(25M)184分対応VTRにてご使用ください。

IEEE1394デジタルインターフェース

IEEE1394デジタル入力データの記録フォーマットは下表に従って決定されます。

セットアップメニュー NO. 012「SYS FORMAT」の設定	入力データ	記録フォーマット データ
50M	DVCPR050	DVCPR050
	DVCPRO	記録不可
	DV	記録不可
25M	DVCPR050	記録不可
	DVCPRO	DVCPRO
	DV	DVCPRO*1

*1 入力データのオーディオが32 kHz/4CHの場合、セットアップメニューNo.889「DIF AUD IN」でCH1/CH2 とCH3/CH4 を選択できます。

セットアップメニューNo.881「DIF TYPE」の設定および再生テープ（モード）により、IEEE1394デジタル出力データのフォーマットが決定されます。

モード	セットアップメニュー No.012 「SYS FORMAT」 の設定	セットアップメニュー No.881 「DIF TYPE」 の設定	出力データの フォーマット
DVCPR050 テープ再生時	—	—	DVCPR050
DVCPRO テープ再生時	—	AUTO	DVCPRO
	—	DVCPRO	DVCPRO
DV/DVCAM テープ再生時	—	DV	DV
	—	AUTO	DV
	—	DVCPRO	DVCPRO
EJECT またはE-E時	50 M	—	DVCPR050
	25 M	AUTO	DVCPRO
		DVCPRO	DVCPRO
		DV	DV

使用上のご注意

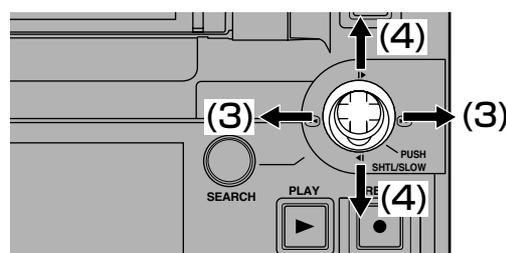
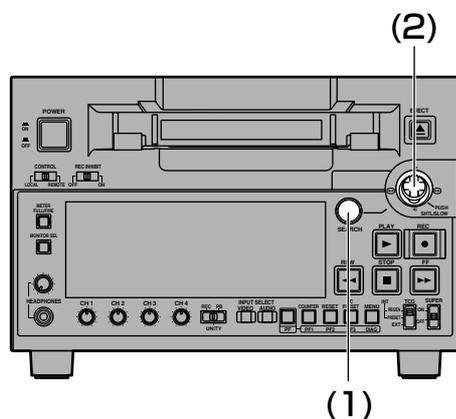
- 他の機器とは、1対1で接続してください。
- ワーニングE-92（1394 INITIAL ERROR）が表示される場合は、接続ケーブルを差しなおすか、VTRの電源を入れなおしてください。
- 接続された機器の電源ON/OFFおよび、I/Fケーブルの抜き差しなどで、AV信号が乱れることがあります。
- 入力信号の切り替え時やモード移行の際に、システムが安定するまで数秒かかることがあります。システムが安定した後に、記録動作を行ってください。
- IEEE1394デジタルインターフェース入力選択で記録を行う場合、またはIEEE1394デジタルインターフェースで出力される信号に対しては下記のようになります。
 - ・フロントパネルのオーディオレベルコントロールつまみは動作しません。
 - ・セットアップメニューVブランク関連800番台の設定は無視されます。
 - ・通常の1倍速再生以外の再生信号を入力したとき、記録される映像や音声、あるいはEE系の画像と音声は保証されません。
- ビデオの入力選択をIEEE1394デジタルインターフェースとして選択した場合は以下のようになります。
 - ・E-EモードでのSDI、またはアナログビデオ出力信号およびタイムコード出力は不規則となります。また、その信号を記録用には使用しないでください。（テレテキスト信号等ビデオ出力信号に多重される信号も不規則となります。）
- SLOW/STILL再生時には、IEEE1394デジタルインターフェース出力として未処理のビデオ、オーディオ信号が出力されます。これらのビデオ、オーディオ信号を他の機器でモニターすると、本機で再生したビデオ、オーディオ信号と異なる場合があります。

IEEE1394ケーブルを接続する場合は、以下のことを必ずお守りください。

- (1) 本機ならびに接続する全ての機器は接地（アース）した状態（または共通のGNDに接続した状態）でご使用ください。
接地できない場合は、まず接続された全ての機器の電源を切ってから、IEEE1394ケーブルの抜き差しを行ってください。
- (2) 4ピン型の端子を持つ機器と本機を接続する場合は、本機の端子（6ピン型）を先に接続してください。
- (3) 6ピン型の端子の付いたパソコンと接続する場合は、IEEE1394ケーブルを1394端子の形状通りに接続してください。プラグを逆に差し込むと、本機の破損につながりますのでご注意ください。

サーチスティック

- (1) SEARCHボタンを押して、サーチスティックを有効にします。
セットアップメニューNo.100 SEARCH ENAが「STICK」に設定されているときは、SEARCHボタンを押さなくてもサーチスティックが有効になります。
- (2) サーチスティックを押してSHTLモードかSLOWモードに切り替えます。
- (3) サーチスティックを右に倒すと、倒した角度に応じた速度でフォワード方向への可変速再生ができます。
左に倒すとリバース方向になります。
 - SHTLモード：サーチスティックを最大に倒したときの最高速度は、セットアップメニューNo.101 SHTL MAXで設定した速度となります。
 - SLOWモード：-1.0~+1.0までの速度となります。
- (4) サーチスティックを上を倒すと、フォワード方向にフレーム送り、逆に下に倒すとリバース方向にフレーム送りします。
上あるいは下に倒したまま保持すると、スロー再生ができます。
 - サーチスティックを倒したままSEARCHボタンを押すと、サーチスティックを離しても現在の速度を保持します。STOP、PLAYなどの操作ボタンを押すと、速度の保持は解除されます。



PF (Programmable Function) 機能

セットアップメニューの項目を3件登録でき、PFボタンを使用し、簡単操作でセットアップメニュー設定値を変更できます。

PFボタンへの登録

- (1) MENUボタンを押し、セットアップメニューを開きます。
- (2) サーチスティックを上下に倒し、登録するPF番号の項目 (A04~A06) を選択します。

```

SETUP-MENU MENU
<USER1> NO .A04-
A02 P. ON LOAD OFF
*A04 PF1 ASSIGN 012
A05 PF2 ASSIGN 513
A06 PF3 ASSIGN ---
END
    
```

- (3) サーチスティックを押すと、設定できる項目が表示されます。

```

SETUP-MENU MENU
<USER1> NO .A04- ---
A04 PF1 ASSIGN ---
*--- NO ASSIGN
001 LOCAL ENA
002 TAPE TIMER
003 REMAIN SEL
008 DISPLAY SEL
009 CHARA H-POS
010 CHARA V-POS
    
```

- (4) サーチスティックを上下に倒し、項目を選択します。
- (5) サーチスティックを押すと、通常のメニュー表示画面に戻ります。
MENUボタンを押すと確認画面が出ますので、PLAYボタンを押してセットします。

PFボタンでの操作

- (1) PFボタンを押すと、VIDEO MON端子出力のモニター画面上に登録されている項目が表示されます。

```

PF1: SYS FORMAT 50M
PF2: INT SG CB75
PF3: -----
    
```

- (2) 設定を変更する項目に対応するPF1~PF3ボタンを押します。ボタンを押すごとに設定値が順に更新されます。
- (3) 再度PFボタンを押すと、通常表示に戻ります。また、何も操作しないと約5秒後、自動的に通常表示に戻ります。

リピート再生

■ BEGIN点、END点の設定

- (1) MENUボタンを押します。
- (2) メニューNo.161 CTL(TC)BGNまたは、No.162 ENDを選択し、サーチスティックを左右に倒します。
サーチスティックを操作すると、設定と未設定の選択ができます。
未設定時の表示は、-- : -- : -- : --となります。この状態でリピート再生を行うと、BEGIN点がテープの始端に、END点がテープの終端になります。
- (3) 設定表示の状態ですらサーチスティックを押します。変更桁が点滅表示となります。
- (4) COUNTERボタンで、TC、CTLのいずれかを選択します。
- (5) サーチスティックを左右に倒して、変更桁（点滅表示）を選択します。
ただし、フレームの桁は選択できません。常時、「00」が表示されます。
サーチスティックを上下に倒すと値が変わりません。
RESETボタンを押すと、00 : 00 : 00 : 00にリセットされます。
- (6) 設定終了後は、サーチスティックを押します。
- (7) MENUボタンを押します。
確認画面が表示されますので、この状態でPLAYボタンを押すと、設定値が記憶されます。

■ リピート再生モードの設定

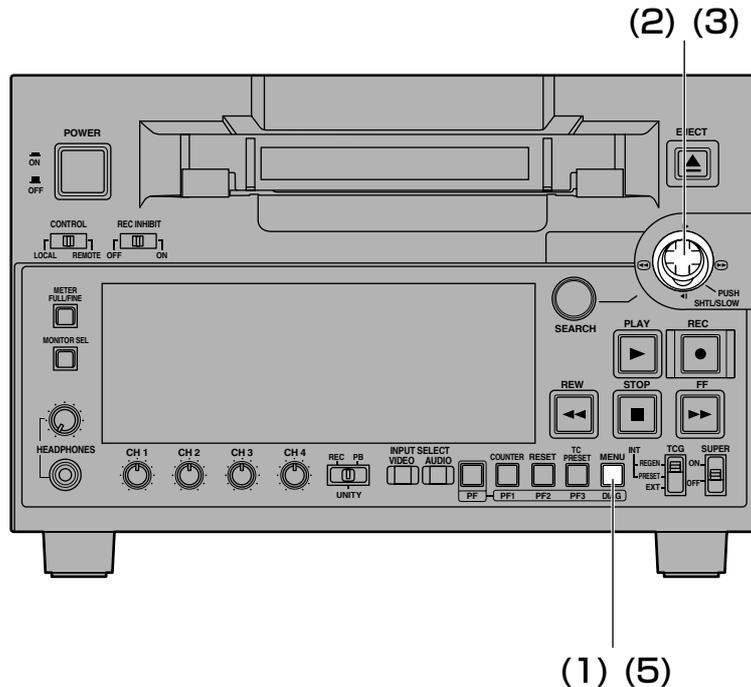
- (1) MENUボタンを押します。
- (2) メニューNo.160 MEMORY MODEを選択し、リピート再生モードを選択します。

設定内容	動作
OFF	通常動作
M-STOP	早送りや巻戻しを行うと、BEGIN点付近で停止します。
REPT1	END点まで再生すると、BEGIN点までテープを巻戻して停止します。
CONT	END点まで再生すると、BEGIN点までテープを巻戻して再生することを繰り返します。

- (3) MENUボタンを押します。
確認画面が表示されますので、この状態でPLAYボタンを押すと、設定値が記憶されます。
- ノート：
- 同じテープで何回もリピート再生を行うと画像が乱れる場合がありますので、約100回を目安に新しいテープと交換してください。
 - リピート再生モードでBEGIN点に戻るときの出力映像は、メニューNo.163 REPT MODEで設定できます。
REPT MODEの設定を「FREEZE」にした場合、END点がテープの終端に設定されていると、正しく再生映像をフリーズしません。映像が記録されている範囲でEND点を設定してください。
 - メニューNo.161 CTL (TC)BGNやNo.162 ENDで設定したときのカウンター表示モード (TC/CTL) と、リピート再生を行うカウンター表示モード (TC/CTL) が異なるときは、REPEATランプが点滅し、リピート再生動作を行いません。

セットアップ (初期設定)

本機の主な設定は、メニュー方式で選択しながら行います。
モニターテレビをリアパネルのVIDEO MON端子と接続している場合は、モニターテレビにセットアップメニューが表示されます。



■ 設定の変更

(1) MENUボタンを押します。

モニターテレビにセットアップメニューの画面が表示され、カウンター表示部にセットアップメニューの項目No.が表示されます。
FFボタンを約1.5秒間押し、カウンター表示部にセットアップメニューの項目名を表示させることができます。再度FFボタンを約1.5秒間押しと項目No.の表示に戻ります。
(以前にセットアップを行っている場合は、最後に変更を行った画面が表示されます。)

(2) サーチスティックを上下に倒して、設定する項目を選びます。

メニュー画面のカーソル(*)が移動し、ディスプレイの項目No.が点滅します。

- PLAYボタンを押しながらFFボタンまたは、REWボタンを押すと、次の大項目または、前の大項目に切り替わります。

(3) 変更する位置で、サーチスティックを左右に倒します。

設定値が変更されます。

設定値を工場出荷設定に戻すときは、SEARCHボタンを押しながら、RESETボタンを押します。

(4) 他に変更する項目がある場合、(2) ~ (3) を繰り返します。

(5) MENUボタンを押します。

- 設定値に変更がない場合は、メニュー画面の表示が消えます。
- 設定値に変更がある場合は、確認の画面が表示されます。
- 設定値の変更を有効にするには、PLAYボタンを押します。
- 設定値の変更を無効にするには、STOPボタンを押します。
- セットアップの内容を工場出荷 (初期設定) に戻すときは、メニューが表示されているときにRESETボタンを押します。確認の画面が表示されますので、この状態でPLAYボタンを押すと工場出荷時の設定になります。

ノート:

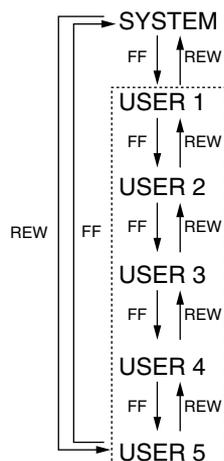
- RESETボタンを押して工場出荷設定に戻すときは、現在使用されているユーザーファイルのみに限られます。他のユーザーファイルには影響を与えません。
- SYSTEMメニューの内容は、MENUボタンを押してメニュー画面を閉じると、変更内容が記録されます。

セットアップメニュー

本機は5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なったメニュー設定の中から、いずれか1つを選択して使用することができます。

■ ファイルの変更

- (1) MENUボタンを押します。
- (2) PFボタンを押しながらFFボタンを押すと、次のユーザーファイルに切り替わります。
PFボタンを押しながらREWボタンを押すと、前のユーザーファイルに戻ります。



ユーザーファイル
各ユーザーファイルには下の項目があります。

- BASIC
- OPERATION
- INTERFACE
- TAPE PROTECT
- TIME CODE
- VIDEO
- AUDIO
- V BLANK
- DIF
- MENU

- (3) ステップ (2) の操作で使用するユーザーファイルを決め、MENUボタンを押します。
確認画面が表示されます。
- (4) PLAYボタンを押すと、設定内容が記憶されます。

■ ロックモードの設定および解除

システムファイルおよびユーザーファイル (USER2～USER5) の設定内容を保護するために、ロックモードの設定ができます。ロックモードを設定すると、設定内容の変更ができなくなります。

ロックモードの設定および解除は、システムファイルではセットアップメニューNo.30 (MENU LOCK)、ユーザーファイルではセットアップメニューNo.A03 (MENU LOCK) で設定できます。

- (1) MENUボタンを押します。
- (2) PFボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、ロックモードを設定または解除するファイルを選択します。
- (3) サーチスティックを操作して、メニュー画面中のカーソル (*) をシステムファイルではNo.30 (MENU LOCK) へ移動し、ユーザーファイルではNo.A03 (MENU LOCK) へ移動します。
- (4) SEARCHボタンを押し、サーチスティックにてロックモードの設定および解除を選択します。
ロック設定：
設定値を0001 (ON) に設定します。
ロック解除：
設定値を0000 (OFF) に設定します。
ロック設定されている場合、メニュー画面上に「LOCKED」を点滅表示します。また、カウンター表示部が点滅表示から点灯表示になります。
- (5) MENUボタンを押します。
確認画面が表示されます。
- (6) PLAYボタンを押すと、設定内容が記憶されます。

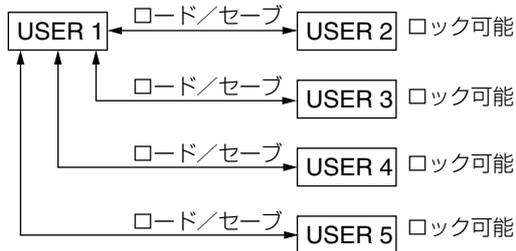
ノト:

- USER1はロックモードの設定ができません。
- ロックモードに設定されているファイルは、RESETボタンを押しても工場出荷値へのリセット操作ができません。

セットアップメニュー (つづき)

■ ユーザーファイルのロード

USER2~USER5の内容をUSER1へ複写 (ロード) することができます。また、USER1の内容をUSER2~USER5へ複写 (セーブ) することができます。



- (1) MENUボタンを押します。
- (2) PFボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- (3) サーチスティックを操作して、メニュー画面中のカーソル (*) をNo.A00 (LOAD) へ移動します。

```

SETUP-MENU  MENU
<USER1>    NO .A00-0000
804 BLANK LINE  BLANK
*A00 LOAD      USER2
A01 SAVE      USER2
A02 P. ON LOAD OFF
END
    
```

- (4) サーチスティックを押し、次に左右に倒してUSER1へロードするユーザーファイルを選択します。
- (5) サーチスティックを押します。
メニュー画面上およびカウンター表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```

SETUP-MENU  LOAD
USER2 → USER1 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
    
```

カウンター表示部



■の部分、(4) の操作で選択されたユーザーファイルNo.が表示されます。

- (6) PLAYボタンを押します。
(4) の操作で選択されたユーザーファイルの設定値がロードされてUSER1のメニュー表示となります。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- (7) MENUボタンを押します。
確認画面が表示されます。
PLAYボタンを押すと、USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、STOPボタンを押します。

■ ユーザーファイルのセーブ

- (1) MENUボタンを押します。
- (2) PFボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- (3) サーチスティックを操作して、メニュー画面中のカーソル (*) をNo.A01 (SAVE) へ移動します。

```

SETUP-MENU  MENU
<USER1>    NO .A00-0000
804 BLANK LINE  BLANK
A00 LOAD      USER2
*A01 SAVE      USER2
A02 P. ON LOAD OFF
END
    
```

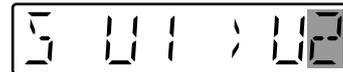
- (4) サーチスティックを押し、次に左右に倒して、USER1の内容をセーブするユーザーファイルを選択します。
このとき、ロックモードに設定されているユーザーファイルは表示されません。すべてのユーザーファイルがロックモードに設定されている場合は、“LOCKED”表示となりセーブ操作ができません。
- (5) サーチスティックを押します。
メニュー画面上およびカウンター表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```

SETUP-MENU  SAVE
USER1 → USER2 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
    
```

カウンター表示部



■の部分、(4) の操作で選択されたユーザーファイルNo.が表示されます。

- (6) PLAYボタンを押します。
USER1の内容が (4) の操作で選択されたユーザーファイルへセーブされて記憶されます。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- (7) MENUボタンを押します。
通常表示に戻ります。

■ 電源投入時のユーザーファイルの自動呼出し

セットアップメニューNo.A02 (P.ON LOAD) でロードするユーザーファイルを予め選択しておく、電源を投入したとき、自動的にそのファイルをUSER1へロードすることができます。

セットアップメニュー (つづき)

SYSTEMメニュー

No./項目	設定内容
11 SYS SC	システム位相調整： 可変範囲±180° -：進む、+：遅れる 0000 -128 ノート： ： 工場出荷時設定操作 0128 0 を行っても、設定値 ： は変化しません。 0255 127 YA93
13 SYS H	システム位相調整：74 nsステップ -：進む、+：遅れる 0000 -128 ノート： ： 工場出荷時設定操作 0108 0 を行っても、設定値 ： は変化しません。 0216 127 YA93
14 SCH COARSE	SCH位相調整：90°単位 (SC位相が変化し、H位相は変化しません。) -：進む、+：遅れる 0000 0 0001 90 0002 180 0003 270 YA93
15 SCH FINE	SCH位相調整： トータル可変範囲±45°以上 (SC位相が変化し、H位相は変化しません。) -：進む、+：遅れる 0000 -32 ： 0032 0 ： 0064 32 YA93
16 AV PHASE	映像出力に対しての、音声出力の位相を調整します。：20.8 μsステップ -：映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 +：映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。 0000 -128 ： 0128 0 ： 0255 127 YA93 YA94G

No./項目	設定内容
18 SYS H OFFSET	システム位相調整 0000 -3 : -13.4 μsec 0001 -2 : -8.96 μsec 0002 -1 : -4.52 μsec 0003 0 : 0 sec 0004 1 : +4.52 μsec 0005 2 : +8.96 μsec 0006 3 : +13.4 μsec ノート： 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。 YA93
22 VIDEO LEVEL	ビデオレベルを設定します。 最大可変量：±3 dB 0000 -128 ： 0128 0 ： 0255 127 YA93 YA94G
23 SET UP LEVEL	セットアップレベルを設定します。 最大可変量：14 IRE 0000 -128 ： 0128 0 ： 0255 127 YA93 YA94G
24 HUE	ヒューを設定します。 最大可変量：±30° 0000 -128 ： 0128 0 ： 0255 127 YA93 YA94G
25 CHROMA LEVEL	クロマレベルを設定します。 最大可変量：±3 dB 0000 -128 ： 0128 0 ： 0255 127 YA93 YA94G
30 MENU LOCK	システムファイルのロックモードの設定/解除を選択します。 0000 OFF : ロック解除 (変更可能) 0001 ON : ロック設定 (変更禁止) YA93 YA94G

下線部の項目は、工場出荷モードです。

YA93 は、オプションボードAJ-YA93装着時のみ表示されます。

YA94G は、オプションボードAJ-YA94G装着時のみ表示されます。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<BASIC>

No./項目	設定内容
001 LOCAL ENA	CONTROLスイッチが「REMOTE」のとき、フロントパネルで操作可能なボタンを選択します。 0000 DIS : すべて不可 0001 ST&EJ : STOP、EJECT ボタンのみ可能 0002 ENA : すべて可能
002 TAPE TIMER	CTLカウンタ表示の12/24時間表示を選択します。 0000 ±12h : 12時間表示 0001 24h : 24時間表示
003 REMAIN SEL	VIDEO MON端子のスーパー表示に、テープ残量時間およびテープ総量を表示するかどうかを選択します。 0000 OFF : 表示しません。 0001 2L : 2行目にテープ残量時間を表示します。 0002 1L : 1行目にテープ残量時間を表示します。 0003 R/TTL : 1行目にテープ残量時間を表示し、2行目にテープ総量を表示します。 ノート： • 2Lを選択したとき、セットアップメニューNo.008 (DISPLAY SEL) がTIME、VITCに設定されている場合、表示しません。 • R/TTLを選択したとき、セットアップメニューNo.008 (DISPLAY SEL) がTIME、VITCに設定されている場合、テープ総量は表示しません。

No./項目	設定内容
008 DISPLAY SEL	VIDEO MON端子のタイムコード等のスーパー表示の表示内容を選択します。 0000 TIME : データだけを表示します。 (データとは、COUNTERボタンで選択されているCTL/TC/UBの値を示します。) 0001 T&STA : データと動作状態を表示します。 0002 T&S&M : データと動作状態およびモードを表示します。 0003 T&RT : データと記録時間を表示します。 0004 T&YMD : データと記録日時 (年月日) を表示します。 0005 T&MDY : データと記録日時 (月日年) を表示します。 0006 T&DMY : データと記録日時 (日月年) を表示します。 0007 T&UB : データとユーザズビットを表示します。 ただし、COUNTERボタンでUBを選択しているときは、ユーザズビットの次にタイムコードが表示されます。 0008 T&CTL : データとCTLデータを表示します。 ただし、COUNTERボタンでCTLを選択しているときは、CTLデータの次にタイムコードが表示されます。 0009 T&T : データとVAUX領域に記録されたタイムコードを表示します。 0010 VITC : VAUX領域に記録されたタイムコードとユーザズビットを表示します。 ノート： • モード表示： DVCPR050 (50 Mbps) =DVCPR0_50、 DVCPR0 (25 Mbps) =DVCPR0、 DV=DV、DVCAM=DVCAM • T&S&M設定時に、ワーニングまたはエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示します。 • 記録時間や記録日時は、DVテープやDVCAMテープを再生したときに表示します。DVCPR050 (50 Mbps) やDVCPR0 (25 Mbps) では、動作状態を表示します。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<BASIC>

No./項目	設定内容
009 CHARA H-POS	VIDEO MON端子から出力される、タイムコード等のスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。 0000 0 : : <u>0004</u> 4 : : 0016 16 ノート： サーチスティックを押すと、上下左右に倒して文字位置を設定することができます。
010 CHARA V-POS	VIDEO MON端子から出力される、タイムコード等のスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。 0000 0 : : <u>0018</u> 18 : : 0022 22 ノート： • サーチスティックを押すと、上下左右に倒して文字位置を設定することができます。 • DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出ない位置に表示します。
011 CHARA TYPE	VIDEO MON端子から出力される、スーパーおよびSETUP-MENU等の表示タイプを選択します。 <u>0000</u> WHITE : 白文字で、背景は黒 0001 W/OUT : 白文字で、黒のふちどり

No./項目	設定内容
012 SYS FORMAT	本機の記録・再生フォーマットを設定します。 <u>0000</u> 50M : DVCPRO50 (50 Mbps) を選択します。 0001 25M : DVCPRO (25 Mbps) を選択します。 ノート： EJECT時は、本メニューに従います。
013 PB FORMAT	テープ再生時のフォーマットを設定します。 0000 MANUAL : DVCPROのカセットテープが挿入されているときは、セットアップメニューNo.012 (SYS FORMAT) の設定にしたがいます。 DVおよびDVCAMのカセットテープが挿入されているときは、テープに記録されているフォーマットの設定に従います。 <u>0001</u> AUTO : テープに記録されているフォーマットに従います。 ノート： AUTOに設定したときは、テープローディング後フォーマットの判別が完了するまでの間、画像音声か乱れることがあります。
017 CHARA SIZE	VIDEO MON端子から出力されるスーパーで表示される文字の大きさを選択します。 <u>0000</u> NORMAL : 標準の大きさ 0001 LARGE : 標準の大きさの4倍 ノート： LARGEを選択した場合、No.008 (DISPLAY SEL) の設定に関わらず、時間データのみが表示されます。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<OPERATION>

No./項目	設定内容
100 SEARCH ENA	サーチモード (スティック操作) への移行方法を設定します。 0000 STICK : SEARCHボタンを押すか、または、スティックを操作するとサーチモードに移行します。 0001 KEY : SEARCHボタンを押さないと、サーチモードに移行しません。
101 SHTL MAX	シャトル動作の最大速度を設定します。 0000 ×8.4 : ×8.4倍速 0001 ×16 : ×16倍速 0002 ×32 : ×32倍速
102 FF. REW MAX	FF、REW動作の最大速度を設定します。 0000 ×16 : ×16 (32) 倍速 0001 ×32 : ×32 (60) 倍速 0002 ×50 : ×50 (100) 倍速 ノート: • ()表示は、DVCPRO (25 Mbps) /DV/DVCAMモード時の速度です。 • ミニDV/ミニDVCAMカセットテープ使用時は、本設定に関係なく×32倍速になります。
104 REF ALARM	REF. VIDEOが接続されていないときに警告表示するかどうかを選択します。 0000 OFF : 表示しません。 0001 ON : STOPランプを点滅させることで警告表示します。 ノート: リファレンス・ビデオ信号を入力しない場合、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで 사용되는ことをお勧めします。
107 PLAY DELAY	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。 0000 0 : : 0015 15
108 CAP.LOCK	キャプスタンロックモードを選択します。 0000 2F : 2Fモード 0001 4F : 4Fモード ノート: VIDEO MON端子出力のカラーフレーミングは保証されません。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

YA93 は、オプションボードAJ-YA93装着時のみ表示されます。

No./項目	設定内容
109 AUTO REW	テープ終端を検出した場合、自動的にテープ始端まで巻き戻すかどうかを選択します。 0000 OFF : テープ終端で停止します。 0001 ON : テープ始端まで巻き戻します。 ノート: セットアップメニューNo.160 (MEMORY MODE) がM-STOPに設定されている場合、BEGIN点付近で停止します。
111 FRZ MODE SEL	スタンバイOFF (ハーフローディング) モードおよびEJECTモードでの出力画像を選択します。 0000 DIS : 映像出力をミュートします。 0001 STB OFF : スタンバイOFF (ハーフローディング) モード時のみ、その時点での再生画をフリーズして出力します。 0002 SOF&EJ : スタンバイOFF (ハーフローディング) モードおよびEJECTモード時に、その時点での再生画をフリーズして出力します。 ノート: • フリーズ時の状態は、セットアップメニューNo.605 (FREEZE SEL) の設定に従います。 • セットアップメニューNo.122 (STOP EE SEL) がSTOP設定時のみ再生画をフリーズします。 • EJECTモードは、セットアップメニューNo.120 (EJECT EE SEL) がBLACK、GRAYの設定時のみにフリーズ画を出力します。
112 V IN SEL INH	INPUT SELECTボタンでのビデオ入力切り替えモードを選択します。 0000 OFF : INPUT SELECTボタンでのビデオ入力切り替えが、可能になります。 0001 ON : INPUT SELECTボタンでのビデオ入力切り替えが、禁止されます。 0002 REC : 本機が記録に移行した後は、INPUT SELECTボタンでのビデオ入力切り替えが、禁止されます。
113 A IN SEL INH	INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えモードを選択します。 0000 OFF : INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えが、可能になります。 0001 ON : INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えが、禁止されます。 0002 REC : 本機が記録に移行した後は、INPUT SELECTボタンでのオーディオ入力切り替えが、禁止されます。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<OPERATION>

No./項目	設定内容
114 REC INH LAMP	カセットが誤消去防止状態になっているときに、REC INHランプを点滅または点灯させるかを選択します。 0000 LIGHT : ランプが点灯します。 0001 FLASH : ランプが点滅します。 ノート: REC INHIBITスイッチがONに設定されている場合は、本設定に関係なくREC INHランプは常時点灯します。
115 EJECT SW INH	フロントパネルのEJECTボタン操作の許可/禁止を選択します。 0000 REC : 記録モード中は禁止されます。 0001 OFF : すべてのモードにおいて、操作が可能になります。
120 EJECT EE SEL	EJECT時における映像および音声の出力状態を選択します。 0000 EE : EEモード 0001 BLACK : 映像はブラック、音声系はミュートになります。 0002 GRAY : 映像はグレイ、音声系はミュートになります。 ノート: GRAY選択時でもIEEE1394デジタル出力の映像はブラックになります。
121 F/R EE SEL	FF/REW時、EEモードにするか再生モードにするかを選択します。 0000 EE : EEモード 0001 TAPE : 再生モード
122 STOP EE SEL	STOP時、EEモードにするか再生モードにするかを選択します。 0000 EE : EEモード 0001 TAPE : 再生モード ノート: スタンバイOFFモード時もこの選択に従います。ただし、TAPEを選択している時は、映像系はグレイ (IEEE1394デジタル出力はブラック) になります。
160 MEMORY MODE	リピート再生モードを設定します。 0000 OFF : リピート再生しません。(通常動作) 0001 M-STOP : FFやREW動作をしたときに、BEGIN点付近で停止します。 0002 REPT1 : 再生時、END点に達するとBEGIN点までREWして停止します。 0003 CONT : 再生時、END点に達するとBEGIN点までREWし、再生することを繰り返します。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

No./項目	設定内容
161 CTL BGN または TC BGN	リピート再生モードのBEGIN点を設定します。 COUNTERボタンでカウンター表示モードを、TCとCTLのいずれかに設定します。 未設定のときは---:---:---:---となり、テープの始端がBEGIN点になります。
162 END	リピート再生モードのEND点を設定します。 COUNTERボタンでカウンター表示モードを、TCとCTLのいずれかに設定します。 未設定のときは---:---:---:---となり、テープの終端がEND点になります。
163 REPT MODE	リピート再生モードでBEGIN点に戻るときの出力映像を設定します。 0000 FREEZE : END点での再生映像をフリーズしたままBEGIN点に戻ります。 0001 BLACK : BLACK画のままBEGIN点に戻ります。 0002 EE_SEL : セットアップメニューNO.121 (F/R EE SEL) の設定に従いBEGIN点に戻ります。 ノート: FREEZEにした場合、END点がテープの終端に設定されていると、正しく再生映像をフリーズしません。映像が記録されている範囲でEND点を設定してください。

■ USERメニュー<INTERFACE>

No./項目	設定内容
202 ID SEL	コントローラーに返信するID情報を設定します。 0000 OTHER : 0001 DVCPRO : 0002 ORIG : ノート: • OTHERには、DVCPRO以外のVTRのID情報を設定しています。 • ORIGはパナソニック製のコントローラー (AG-A850など、別売品) との接続時のみ設定してください。

YA93

YA93 は、オプションボードAJ-YA93装着時のみ表示されます。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<TAPE PROTECT>

No./項目	設定内容
400 STILL TIMER	<p>テープ保護モードになるまでの時間を選択します。</p> <p>STOP、サーチSTILL (JOG/SLOW/SHTL) の状態で放置されたとき、テープ保護モードになるまでの時間を選択します。 (単位s : 秒、min : 分)</p> <p>0000 0.5s 0001 5s 0002 10s 0003 20s 0004 30s 0005 40s 0006 50s 0007 1min 0008 2min</p> <p>ノート： <ul style="list-style-type: none"> テープ保護モードはSTEP FWDとHALF LOADINGとがあり、STOP時とサーチSTILL時とで、それぞれ設定できます。 番組送出時等、繰り返し同一素材使用のときなどには、同一個所での累計待機時間が長くなります。テープ保護のため、同一個所での待機時間はできるだけ短く設定することをお勧めします。 DV/DVCAMテープ使用時に10s以上を選択しても、10sで処理されます。 </p>
401 SRC PROTECT	<p>テープ保護モードの動作を選択します。</p> <p>サーチSTILL (JOG/SLOW/SHTL) の状態で、セットアップメニューNo.400 (STILL TIMER) で設定した時間が経過すると自動的に本機はテープ保護モードに入りますが、ここではどのようなテープ保護モードにするかを選択します。</p> <p>0000 STEP : STEP FWD 0001 HALF : HALF LOADING</p> <p>ノート： STEP FWDが選択されているときに、STILLの状態で放置された合計時間が30分 (DV/DVCAMテープの場合は1分) になると、自動的にスタンバイOFF (ハーフローディング) モードへ移行します。</p>
402 DRUM STDBY	<p>スタンバイOFF (ハーフローディング) モード時のドラムの動作を選択します。</p> <p>0000 OFF : ドラムの回転は停止します。 0001 ON : ドラムは回転を続けます。</p>

No./項目	設定内容
403 STOP PROTECT	<p>テープ保護モードの動作を選択します。</p> <p>STOP状態で、セットアップメニューNo.400 (STILL TIMER) で設定した時間が経過すると自動的に本機はテープ保護モードに入りますが、ここではどのようなテープ保護モードにするかを選択します。</p> <p>0000 STEP : STEP FWD 0001 HALF : HALF LOADING</p> <p>ノート： STEP FWD が選択されているときに、STOPの状態で放置された合計時間が30分 (DV/DVCAMテープの場合は1分) になると、自動的にスタンバイOFF (ハーフローディング) モードへ移行します。</p>

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<TIME CODE>

No./項目	設定内容
500 VITC BLANK	<p>セットアップメニューNo.501 (VITC POS-1) とNo.502 (VITC POS-2) で選択された位置に、VITC信号を出力するかどうかを選択します。</p> <p>0000 BLANK : 出力しません。 0001 THRU : 出力します。</p>
501 VITC POS-1	<p>VITC信号の挿入位置を設定します。</p> <p>0000 10L : : 0006 16L : : 0010 20L</p> <p>ノート: <ul style="list-style-type: none"> • セットアップメニューNo.502 (VITC POS-2) やNo.662 (UMID POS) と同じラインは選択できません。 • SEARCHボタンを押しながら、RESETボタンを押しても、工場出荷設定に戻りません。 </p>
502 VITC POS-2	<p>VITC信号の挿入位置を設定します。</p> <p>0000 10L : : 0008 18L : : 0010 20L</p> <p>ノート: <ul style="list-style-type: none"> • セットアップメニューNo.501 (VITC POS-1) やNo.662 (UMID POS) と同じラインは選択できません。 • SEARCHボタンを押しながら、RESETボタンを押しても、工場出荷設定に戻りません。 </p>
503 TCG REGEN	<p>TCG (タイムコードジェネレーター) がリジェネモードのとき、リジェネする信号を選択します。</p> <p>0000 TC&UB : タイムコード、ユーザズビット共にリジェネします。 0001 TC : タイムコードのみをリジェネします。 0002 UB : ユーザズビットのみをリジェネします。</p>

No./項目	設定内容
505 EXT TC SEL	<p>外部タイムコードを用いる際、使用するタイムコードを選択します。</p> <p>0000 LTC : TIME CODE IN端子のLTCを使用します。 0001 VITC : 入力ビデオ信号のVITCまたは、IEEE1394デジタル入力信号のタイムコードを使用します。</p> <p>ノート: AJ-YA93が装着されていない場合はVITC設定で動作します。</p>
YA93	
506 BINARY GP	<p>TCGで発生するタイムコードのユーザズビットの使用状態を設定します。</p> <p>0000 000 : NOT SPECIFIED (キャラクタセットを指定しない) 0001 001 : ISO CHARACTER (ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクタセット) 0002 010 : UNASSIGNED 1 (未定義) 0003 011 : UNASSIGNED 2 (未定義) 0004 100 : UNASSIGNED 3 (未定義) 0005 101 : PAGE/LINE 0006 110 : UNASSIGNED 4 (未定義) 0007 111 : UNASSIGNED 5 (未定義)</p>
507 PHASE CORR	<p>TIME CODE OUT端子から出力されるLTCの位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : 位相補正コントロールは行いません。 0001 ON : 位相補正コントロールを行います。</p>
YA93	
508 TCG CF FLAG	<p>TCGのCFフラグをONするかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF : CFフラグをOFFします。 0001 ON : CFフラグをONします。</p>
509 DF MODE	<p>CTLおよびTCGのDF/NDFを選択します。</p> <p>0000 DF : ドロップフレームモード 0001 NDF : ノンドロップフレームモード</p> <p>ノート: DF/NDFの切替えはCONTROLスイッチがLOCALの位置になっているときや、セットアップメニューNo.001 (LOCAL ENA) がENAのときのみ有効です。</p>

下線部の項目は、工場出荷モードです。

YA93 は、オプションボードAJ-YA93装着時のみ表示されます。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<TIME CODE>

No./項目	設定内容
510 TC OUT REF YA93	TCGスイッチが「EXT」のとき、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切り替えます。 <u>0000 V OUT</u> : 出力映像に合わせます。 <u>0001 TC_IN</u> : 外部タイムコード入力に合わせます。
511 VITC OUT	出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を選択します。 <u>0000 SBC</u> : 記録時: セットアップメニューNo.505 (EXT TC SEL) の設定およびTCGスイッチで選択された入力タイムコードをVITCとして出力します。 再生時: SBC領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。 <u>0001 VAUX</u> : 記録時: 入力ビデオ信号より検出されたタイムコードをVITCとして出力します。 再生時: VAUX領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。 ノート: • 入力ビデオ信号より検出されたタイムコードは映像が記録される際、自動的にVAUX領域に記録されます。 • 入力信号としてY PB PR、CMPST、SDIが選択されている場合、記録時に出力されるVITCは上記設定にかかわらず入力信号に重畳されたタイムコードを出力します。
513 RUN MODE	内部タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。 <u>0000 REC</u> : 記録中のときに歩進させます。 <u>0001 FREE</u> : 電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進させます。

No./項目	設定内容
514 VITC GEN	内部タイムコードジェネレーターの値をVAUX領域に記録するかどうかを選択します。 <u>0000 OFF</u> : 内部タイムコードジェネレーター値をVAUX領域に記録しません。タイムコードが記録されているビデオ信号を入力したときは、入力信号のタイムコードをVAUX領域に記録します。 <u>0001 ON</u> : 内部タイムコードジェネレーター値をVAUX領域に記録します。

SBC (Sub Code Data) 領域

ヘリカルトラック上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域であり、SMPTE/EBUに準拠したタイムコードが格納されます。従来のLTC (Linear Time Code) と同様に巻き戻し、早送り時にもタイムコードを読むことが可能であり、またテープ停止時でも読み出し可能です。

VAUX (Video Auxiliary Data) 領域

ヘリカルトラック上の映像データ領域内に存在する領域であり、映像データに関連する付加情報が格納されます。

ノート:

テープ再生時におけるタイムコード/ユーザービットの管理は、SBC領域に記録されているデータで行われます。即ち、フロントパネル中央のカウンタ表示部やスーパーインポーズに表示されているデータ、編集コントローラなどへの通信データはすべてSBC領域に記録されているデータで行われます。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

YA93 は、オプションボードAJ-YA93装着時のみ表示されます。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<VIDEO>

No./項目	設定内容
600 INT SG	内部基準信号を選択します。 0001 BB : ブラックバーストを発生させます。 0002 CB100 : 100%カラーバーを発生させます。 0003 CB75 : 75%カラーバーを発生させます。
602 V-MUTE SEL	再生中にテープのブランク (空白) 部分が検出された場合、ビデオ出力信号をミュートするかどうかを選択します。 0000 N-MUTE : ミュートしません。(フリーズします。) 0001 LOW RE : ミュートします。(グレーにします。)
603 CC (F1) BLANK	第1フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。
604 CC (F2) BLANK	第2フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。
605 FREEZE SEL	静止画面のフリーズ状態を選択します。 0000 FIELD : フィールドフリーズ 0001 FRAME : フレームフリーズ ノート: FRAMEを選択した場合は、スロー時もフレームスローになります。
609 EDH YA94G	SDI出力にEDHを重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF : 重畳しません。 0001 ON : 重畳します。
610 Pb/Pr IN LV YA93	アナログコンポーネント入力信号のレベルを選択します。 0000 M II : M II レベル 0001 B-CAM : β -CAMレベル
614 Pb/Pr OUT LV YA93	アナログコンポーネント出力信号のレベルを選択します。 0000 M II : M II レベル 0001 B-CAM : β -CAMレベル

No./項目	設定内容
624 CC REC YA93 YA94G	入力信号に多重されたクローズドキャプション信号を記録するかどうかを選択します。 0000 OFF : 記録しません。 0001 ON : 入力信号にクローズドキャプション信号が多重されている場合は記録します。 ノート: INPUT SELECTボタンで入力信号に1394が選択されている場合は、設定に関係なく、入力信号に多重されているクローズドキャプション信号が記録されます。
645 WIDE SELECT	WIDE画面情報をテープに記録するかどうかを選択します。 0001 WIDE : 記録します。 0002 NORMAL : 記録しません。 ノート: INPUT SELECTボタンで入力信号に1394が選択されているときは、このメニューの設定に関係なく、入力信号のWIDE画面情報がそのままテープに記録されます。
660 UMID REC	UMID情報をテープに記録するかどうかを選択します。 0000 OFF : 記録しません。 0001 ON : 記録します。 ノート: INPUT SELECTボタンで入力信号に1394が選択されているとき、ON設定されていても、入力信号が検出できない場合、UMIDを記録しません。
661 UMID GEN	セットアップメニューNo.660 (UMID REC) がONに設定されているときに、テープに記録するUMID情報のBasic UMIDを選択します。 0000 INT : 常に新しく生成した本機のBasic UMIDを記録します。 0001 EXT : 入力信号のBasic UMIDを記録します。入力信号にBasic UMIDが存在しないときは、新しく生成した本機のBasic UMIDを記録します。 ノート: テープに記録するUMID情報のSource Packには、このメニューの設定に関係なく、入力信号のSource Packが記録されます。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

YA93 は、オプションボードAJ-YA93装着時のみ表示されます。

YA94G は、オプションボードAJ-YA94G装着時のみ表示されます。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<VIDEO>

No./項目	設定内容
662	UMID情報を重畳するラインを設定します。
UMID POS	
	0000 BLANK
	0001 12L
	⋮ ⋮
	<u>0006 17L</u>
	⋮ ⋮
	0008 19L
	ノート:
	<ul style="list-style-type: none"> • セットアップメニューNo.501 (VITC POS-1) とNo.502 (VITC POS-2) で設定したラインは選択できません。 • SEARCHボタンを押しながら、RESETボタンを押しても、工場出荷設定に戻りません。
YA94G	

■ USERメニュー<AUDIO>

No./項目	設定内容
701	オーディオ入力 (CH1) の基準レベル切り替えを選択します。
CH1 IN LV	
	<u>0000 4dB</u>
	0001 0dB
	0002 -20dB
YA93	
702	オーディオ入力 (CH2) の基準レベル切り替えを選択します。
CH2 IN LV	
	<u>0000 4dB</u>
	0001 0dB
	0002 -20dB
YA93	
703	オーディオ入力 (CH3) の基準レベル切り替えを選択します。
CH3 IN LV	
	<u>0000 4dB</u>
	0001 0dB
	0002 -20dB
YA93	
704	オーディオ入力 (CH4) の基準レベル切り替えを選択します。
CH4 IN LV	
	<u>0000 4dB</u>
	0001 0dB
	0002 -20dB
YA93	
706	オーディオ出力 (CH1) の基準レベル切り替えを選択します。
CH1 OUT LV	
	<u>0000 4dB</u>
	0001 0dB
	0002 -20dB
YA93	
707	オーディオ出力 (CH2) の基準レベル切り替えを選択します。
CH2 OUT LV	
	<u>0000 4dB</u>
	0001 0dB
	0002 -20dB
YA93	
708	オーディオ出力 (CH3) の基準レベル切り替えを選択します。
CH3 OUT LV	
	<u>0000 4dB</u>
	0001 0dB
	0002 -20dB
YA93	
709	オーディオ出力 (CH4) の基準レベル切り替えを選択します。
CH4 OUT LV	
	<u>0000 4dB</u>
	0001 0dB
	0002 -20dB
YA93	

下線部の項目は、工場出荷モードです。

YA93 は、オプションボードAJ-YA93装着時のみ表示されます。

YA94G は、オプションボードAJ-YA94G装着時のみ表示されます。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<AUDIO>

No./項目	設定内容
722 REC CH1 YA93 YA94G	オーディオのCH1トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH1 : オーディオ入力のCH1 0001 CH2 : オーディオ入力のCH2 0002 CH1+2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号
723 REC CH2 YA93 YA94G	オーディオのCH2トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH1 : オーディオ入力のCH1 0001 CH2 : オーディオ入力のCH2 0002 CH1+2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号
724 REC CH3 YA93 YA94G	オーディオのCH3トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH3 : オーディオ入力のCH3 0001 CH4 : オーディオ入力のCH4 0002 CH3+4 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
725 REC CH4 YA93 YA94G	オーディオのCH4トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH3 : オーディオ入力のCH3 0001 CH4 : オーディオ入力のCH4 0002 CH3+4 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
727 PB FADE	再生時に、音声編集点 (IN点、OUT点) の処理をどのように行うかを選択します。 0000 AUTO : 記録時の状態に従います。 0001 CUT : 強制CUT 0002 FADE : 強制FADE
728 EMBEDDED AUD YA94G	SDI出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF : 重畳しません。 0001 ON : 重畳します。

No./項目	設定内容
734 MONI SEL INH	フロントパネルのMONITOR SELECTボタン操作の許可/禁止を選択します。 0000 OFF : 操作が可能になります。 0001 ON : 操作が禁止されます。 0002 ON1 : FULL表示モード時は操作が禁止され、FINE表示モード時のみ操作が可能になります。
750 DV PB ATT	DVテープを再生しているとき、オーディオ出力レベルに対する減衰を選択します。 0000 OFF : オーディオ出力レベルを減衰しません。 0001 ON : オーディオ出力レベルを減衰します。
751 REC PT MUTE	DVテープやDVCAMテープを再生しているとき、記録されている信号の繋ぎ目での、オーディオ信号に対するミュート処理を選択します。 0000 OFF : ミュートしません。 0001 ON : ミュートします。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

YA93 は、オプションボードAJ-YA93装着時のみ表示されます。

YA94G は、オプションボードAJ-YA94G装着時のみ表示されます。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<V BLANK>

No./項目	設定内容
802 TELETEXT SEL YA93 YA94G	記録するテレテキスト信号の種類を選択します。 0000 MOJI : MOJI方式 0001 NABTS : NABTS方式 ノート: NABTS方式を選択した場合、テレテキスト信号を検出するときに、誤ってVITC信号などをテレテキスト信号として検出することがあります。このときは、セットアップメニューNo.803 (TELETEXT DET) の設定でMANUを選択し、テレテキスト信号を記録するラインを設定してください。
803 TELETEXT DET YA93 YA94G	テレテキスト信号を記録するラインの検出方法を選択します。 0000 OFF : テレテキスト信号を記録しません。 0001 AUTO : テレテキスト信号を自動的に検出し記録します。 0002 MANU : テレテキスト信号を記録するラインを選択し設定します。 ノート: • テレテキストの記録できるライン数は、セットアップメニューNo.660 (UMID REC) の設定により異なります。 ["TELETEXTの設定可能ライン数"を参照] • MANUを選択し、STOPボタンを押すとサブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻る場合は、再度STOPボタンを押します。
サブ画面	
00 REC LINE1 : 12 REC LINE13	テレテキスト信号の記録するラインを選択します。 0000 OFF 0002 11&274 0003 12&275 0004 13&276 0005 14&277 0006 15&278 0007 16&279 0008 17&280 0009 18&281 0010 19&282 0011 20&283 0012 21&284 0013 22

No./項目	設定内容
804 BLANK LINE	ビデオ出力信号の垂直ブランキング期間のブランキングON/OFFを選択します。 0000 BLANK : 全ライン強制ブランキングします。 0001 THRU : 全ラインブランキングしません。 0002 MANU : 各ラインごとにブランキングのON/OFFを選択します。 ノート: MANU設定時、STOPボタンを押すとサブ画面に映り、各ラインに対してON/OFFを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。
サブ画面	
00 LINE 10&273 : 11 LINE 21&284	0000 BLANK : 強制ブランキングします。 0001 THRU : ブランキングしません。
805 22&285 BLANK	ビデオ信号の22 (285) ラインの出力方法を選択します。 0000 OFF : ブランキングしません。 0001 ON : ブランキングします。

• TELETEXTの設定可能ライン数

No.660 :	設定可能ライン数	
UMID REC の設定	記録・再生 フォーマット 50 Mbps	記録・再生 フォーマット 25 Mbps
OFF	10	13
ON	9	10

- 再生されるテレテキスト信号はITU-R BT.653のテレテキスト規格を完全には満足しません。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

YA93 は、オプションボードAJ-YA93装着時のみ表示されます。

YA94G は、オプションボードAJ-YA94G装着時のみ表示されます。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<DIF>

No./項目	設定内容
880 DIF SPEED	IEEE1394デジタルインターフェース出力の転送速度を設定します。 <u>0000</u> <u>S100</u> : 100 Mbps 0001 S200 : 200 Mbps 0002 S400 : 400 Mbps
881 DIF TYPE	IEEE1394デジタル出力時のフォーマットを設定します。 <u>0000</u> DVCPRO : 強制的にDVCPROで出力。 0001 DV : 強制的にDVで出力。 <u>0002</u> AUTO : 再生時は、再生テープフォーマットに従います。EE時は、セットアップメニューNo.012「SYS FORMAT」に従います。 ノート: 再生、EE時のフォーマットがDVCPRO50の場合、このメニューに関係なくDVCPRO50フォーマットとして出力します。
882 DIF IN CH	IEEE1394デジタル入力チャンネルを設定します。 0000 0 : : 0063 63 0~63: 指定値で固定。 <u>0064</u> AUTO : 指定値で固定しない。 電源がONのとき、入力チャンネルは63に初期化されます。
883 DIF OUT CH	IEEE1394デジタル出力チャンネルを設定します。 0000 0 : : 0063 63 0~63: 指定値で固定。 <u>0064</u> AUTO : 指定値で固定しない。 電源がONのとき、出力チャンネルは63に初期化されます。
886 DIF CONFIG	拡張用のメニュー。 通常はDFLTでご使用ください。 <u>0000</u> <u>DFLT</u> 0001 1 : : 0255 255

No./項目	設定内容
889 DIF AUD IN	オーディオ信号が4CHモードのDVフォーマットデータを入力し、DVCPROテープに記録する場合のテープ上に記録されるチャンネルを選択します。 <u>0000</u> <u>CH1&2</u> : DVフォーマット受信データのCH1およびCH2を選択 0001 <u>CH3&4</u> : DVフォーマット受信データのCH3およびCH4を選択
890 DIF AUD OUT	オーディオ信号が4CHモードのDVテープを再生し、DVCPROフォーマットとして出力する場合、またはセットアップメニューNo.891「DIF DV AUDIO」がLOCK48のときのチャンネルを選択します。 <u>0000</u> <u>CH1&2</u> : DVテープのCH1およびCH2を選択 0001 <u>CH3&4</u> : DVテープのCH3およびCH4を選択
891 DIF DV AUDIO	DVテープを再生し、DVフォーマットで出力する場合の強制オーディオモード変換を設定します。 <u>0000</u> <u>THRU</u> : 通常 (スルー) 0001 <u>LOCK</u> : 強制的にLOCKモードに変換する。(周波数の変換はしない) 0002 <u>LOCK48</u> : 強制的に48 kHz/2CH/LOCKに変換する。

下線部の項目は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (つづき)

■ USERメニュー<MENU>

No./項目	設定内容
A00 LOAD	<p>USER1へロードするユーザーファイルを選択します。</p> <p>0000 USER2 : USER2の内容をロードします。</p> <p>0001 USER3 : USER3の内容をロードします。</p> <p>0002 USER4 : USER4の内容をロードします。</p> <p>0003 USER5 : USER5の内容をロードします。</p> <p>ノート: ロード操作を行った後、MENUボタンを押すと確認画面が表示されます。PLAYボタンを押すと設定値が記憶されます。STOPボタンを押すと設定値は変更されません。</p>
A01 SAVE	<p>USER1の設定をセーブするユーザーファイルを選択します。</p> <p>0000 USER2 : USER2へセーブします。</p> <p>0001 USER3 : USER3へセーブします。</p> <p>0002 USER4 : USER4へセーブします。</p> <p>0003 USER5 : USER5へセーブします。</p> <p>0004 LOCKED : すべてのユーザーファイルが、変更禁止状態の場合に表示します。</p> <p>ノート:</p> <ul style="list-style-type: none"> 変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。 すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となり、セーブ操作はできません。

No./項目	設定内容
A02 P. ON LOAD	<p>電源投入時に、選択したユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動します。</p> <p>0000 OFF : 前回設定したユーザーファイルで起動します。</p> <p>0001 USER2 : USER2の内容をUSER1へロードし起動します。</p> <p>0002 USER3 : USER3の内容をUSER1へロードし起動します。</p> <p>0003 USER4 : USER4の内容をUSER1へロードし起動します。</p> <p>0004 USER5 : USER5の内容をUSER1へロードし起動します。</p>
A03 MENU LOCK	<p>ユーザーファイル (USER2~USER5) のロックモードの設定/解除を選択します。</p> <p>0000 OFF : ロック解除 (変更可能)</p> <p>0001 ON : ロック設定 (変更禁止)</p> <p>ノート: USER1のロック設定はできません。</p>
A04 PF1 ASSIGN	PF1ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。
A05 PF2 ASSIGN	PF2ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。
A06 PF3 ASSIGN	PF3ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。

ノート:

- No.A00 (LOAD)、No.A01 (SAVE)、No.A02 (P. ON LOAD) は、USER1のみ設定可能な項目です。
USER2~USER5では表示されません。
- No.A03 (MENU LOCK) は、USER2~USER5のみ設定可能な項目です。
USER1では表示されません。

タイムコード/ユーザズビットについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーター（タイムコード信号発生器）によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー（タイムコード信号読取器）でその値を読み取り、テープの絶対位置を時：分：秒：フレーム単位で表示するときに表示します。

タイムコードは、ヘリカルトラックのサブコード領域（データ領域）に書き込まれます。

VTRの再生速度が停止モード→スロー再生→高速再生（約50倍速、ただしDVCPROテープ使用時は約100倍速）まで読み取ることができます。

タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00:07:04:24
↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

ユーザズビット

ユーザズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット（8桁）の情報枠のことで、オペレータナンバーなどを記録することができます。

ユーザズビットに使用できる数字（文字）は0～9とA B C D E Fです。

内部タイムコードの設定

- (1) VTRを停止モードにします。
- (2) COUNTERボタンで「TC」を選択します。
- (3) セットアップメニューNo.513 (RUN MODE) でタイムコードジェネレーターの歩進方法を設定します。

REC :

記録中のときに歩進させます。

FREE :

電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進させます。

- (4) TCGスイッチでリジェネモードを設定します。

REGEN :

下地のタイムコードの連続性を保ちます。
(メニュー設定で、詳細な設定もできますので参照してください。)

セットアップメニューNo.503 (TCG REGEN)

PRESET :

TC PRESETボタンで設定された値から記録を開始します。

- (5) タイムコード/ユーザズビットのプリセットは以下のように操作します。

- ① TCGスイッチを「PRESET」に設定します。
- ② COUNTERボタンでTCまたはUBを選択します。
- ③ TC PRESETボタンを押すと設定モードに移行して、カウンタ表示の設定桁が点滅します。
- ④ サーチスティックを操作してプリセット値を設定します。
左、右→桁移動 上、下→設定値変更
• RESETボタンを押すとプリセット値を0にリセットします
- ⑤ TC PRESETボタンを押すとセットされます。

外部タイムコードの設定

- (1) VTRを停止モードにします。
- (2) COUNTERボタンで「TC」を選択します。
- (3) TCGスイッチの位置を「EXT」にします。(外部タイムコードの選択)
- (4) セットアップメニューNo.505 (EXT TC SEL) で以下の設定ができます。(AJ-YA93装着時のみ)

LTC :

リアパネルのTIME CODE IN端子 (BNC) に入力されるLTC信号が、タイムコードとして記録されます。

ノート :

LTCは、ビデオ信号と同期している必要があります。
アナログI/OオプションAJ-YA93が必要となります。

VITC :

入力ビデオ信号のVITCあるいはIEEE1394上のタイムコードが記録されます。

タイムコード/ユーザズビットの再生

- (1) VTRを停止モードにします。
- (2) COUNTERボタンで「TC」または、「UB」を選択します。
- (3) PLAYボタンを押します。

再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。
SUPERスイッチの位置が「ON」の場合、VIDEO MON端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

ノート :

タイムコード信号が欠如したときには、CTL信号で自動的に補います。ディスプレイは、以下のようになります。

T * R 00:01:04:07*

タイムコード信号が欠如したとき、*表示になります。

“ ” : 第1、第3 フィールド
“ * ” : 第2、第4 フィールド

ドロップフレームモードのときは、秒とフレームの間のコロンが「.」になります。

タイムコード/ユーザズビットについて(つづき)

■ 本機で記録するタイムコード

TCG スイッチ	セットアップ メニュー No.505 EXT TC SEL	セットアップ メニュー No.514 VITC GEN	ビデオ入力信号 選択	記録するタイムコード	
				SBC領域	VAUX領域
INT (REGEN/ PRESET)	---	OFF	1394	内部TCG値	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (VAUX領域) 入力ビデオ信号の VITC*3
		ON	---		
EXT	LTC	OFF	1394	TIME CODE IN端子 入力のタイムコード*1	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (VAUX領域) 入力ビデオ信号の VITC*3
		ON	---		
	VITC	OFF	1394	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (SBC領域)	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (VAUX領域)
		ON	1394	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域)	入力ビデオ信号の VITC*3
		Y PB PR/ CMPST/SDI	入力ビデオ信号の VITC*2	入力ビデオ信号の VITC*2	

*1: TIME CODE IN端子入力から信号が検出できない場合は、内部TCG値となります。

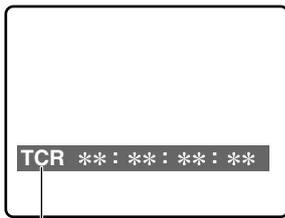
*2: 入力ビデオ信号からVITCが検出できない場合は、内部TCG値となります。

*3: 入力ビデオ信号からVITCが検出できない場合は、未記録となります。

スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

モニターテレビ



省略文字

CTL : コントロール信号のカウント値

TCR : SBC領域に記録されたタイムコードデータ

TCR. : VAUX領域に記録されたタイムコードデータ

UBR : SBC領域に記録されたユーザズビットデータ

UBR. : VAUX領域に記録されたユーザズビットデータ

TCG : タイムコードジェネレータのタイムコードデータ

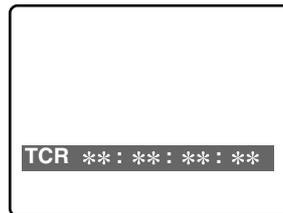
UBG : タイムコードジェネレータのユーザズビットデータ

ノート:

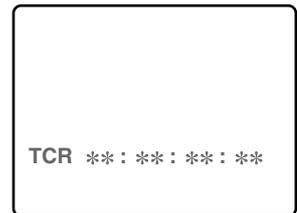
データがテープから正しく読み取れなかったときは、
[T*R] [T*R.] [U*R] [U*R.] が表示されます。

表示文字

スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニューNo.011 (CHARA TYPE) で文字の背景を変えることができます。



モニターテレビ



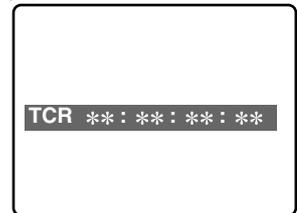
モニターテレビ

表示位置

スーパーインポーズの表示位置はセットアップメニューNo. 009 (CHARA H-POS) とNo. 010 (CHARA V-POS) で変更することができます。



モニターテレビ



モニターテレビ

動作モード

セットアップメニューNo.008 (DISPLAY SEL) でVTRの動作モードも表示されます。



モニターテレビ

VTR動作モード

ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために、適時ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。

なお、具体的なクリーニング方法については、サービス会社または、販売会社にご相談ください。

結露

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）がつくのと同一原理です。

本機やテープを温度・湿度差の大きいところへ移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の多いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したままお待ちください。

もし、本機に結露が発生したときは、カウンター表示部に“E-20”が点滅表示し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態で“E-20”の点滅表示が消えるまでお待ちください。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は、柔らかい布で行ってください。

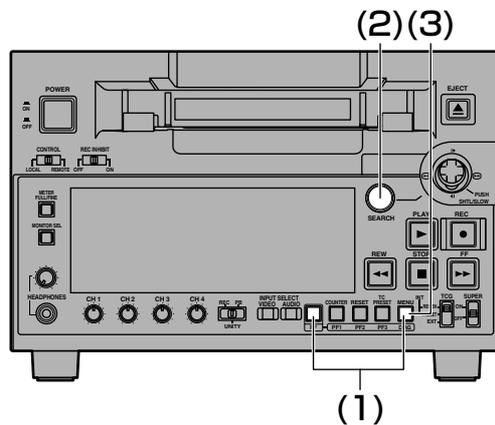
汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞ってふきます。

汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

ノート：

アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面が変色したり、塗装が落ちたりする原因になります。

エラーメッセージ



本機にワーニングが発生すると、カウンター表示部にエラー番号を表示します。
 ダイアグメニューを開くとカウンター表示部、モニターテレビにその内容を表示します。また、本機の動作に異常が発生すると、カウンター表示部にエラー番号を点滅表示します。

■ ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。
 VTRの情報にはワーニング情報、アワーメータ（使用時間）情報、UMID情報があります。
 モニターテレビとリアパネルのVIDEO MON端子を接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューが出ます。

■ ダイアグメニューの表示

- (1) PFボタンを押しながらMENUボタンを押します。モニターテレビにダイアグメニューの画面が表示され、カウンター表示部にメッセージがそれぞれ表示されます。
- (2) SEARCHボタンを押します。押すごとに、「WARNING」→「HOURS METER」→「UMID INFO」→「DIF STATUS1」→「DIF STATUS2」と表示が切り替わります。
- (3) 再度MENUボタンを押すと、もとの表示に戻ります。

■ アワーメータ情報の表示

サーチスティックを上下に動かすと、カーソル（*）が移動し、カーソルのある項目の内容をカウンター表示部に表示します。

NO.	項目	内容
Ser	*****	デッキのシリアルNo.を表示します。
H00	OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。
H01	DRUM RUN	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。
H02	TAPE RUN	FF、REW、PLAY、SEARCH（JOG、SLOW、SHTL）RECモード時（ただし、JOG、SLOW、SHTL STILLは除く）に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。
H03	THREADING	スレッティング（ローディング）/アンスレッティング（アンローディング）の回数を1回単位で表示します。
H04	F LOADING	フロントローディングの動作回数を1回単位で表示します。
H11	DRUM RUNr	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。（リセット可能）
H12	TAPE RUNr	FF、REW、PLAY、SEARCH（JOG、SLOW、SHTL）RECモード時（ただし、JOG、SLOW、SHTL STILLは除く）に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。（リセット可能）
H13	THREADINGr	スレッティング（ローディング）/アンスレッティング（アンローディング）の回数を1回単位で表示します。（リセット可能）
H14	F LOADINGr	フロントローディングの動作回数を1回単位で表示します。（リセット可能）
H30	POWER ON	電源が投入された回数を1回単位で表示します。

ノート：

- ・アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。
- ・ダイアグメニュー表示中は、SEARCHボタンおよびサーチスティックによる操作はできなくなります。

エラーメッセージ (つづき)

セットアップメニューNo.008 (DISPLAY SEL) でT&S&Mが選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。複数発生時は、優先順位の高いものが表示されます。

優先度	表示	内容
高い  低い	エラーメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機の動作に異常が発生すると、カウンター表示部にエラー番号を点滅表示し、エラーメッセージを表示します。
	INT SG	INPUT SELECTボタンで入力信号にSGを選択している場合に、RECボタンを押すと (E-Eモード)、開始2秒間表示されます。
	NO INPUT	アナログオーディオを除き、INPUT SELECTボタンにより選択されている端子に入力信号がない場合に、RECボタンを押すと (E-Eモード)、開始2秒間表示されます。
	ワーニングメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機にワーニングが発生すると、カウンター表示部にエラー番号を表示し、ワーニングメッセージを表示します。複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。

■ UMID 情報の表示

E-Eモードのときは、入力信号にUMID情報が存在しているときに表示します。テープ再生時は、テープ上にUMID情報が記録されているときに表示します。UMID情報が存在しないときは、「NO-INFO」を表示します。

表示	内容
MATNO	素材番号
COPY	インスタンス番号 (コピー回数)
OWNR	国名、組織名、ユーザー名
POS	海拔、経度、緯度、記録時におけるGPS衛星からの受信状態 HOLD : GPS衛星からの信号を受信できない。 2D : 受信衛星数が少ない。海拔情報の精度が出ない。 3D : GPS衛星からの受信が良好。
DATE	日付
TIME	UTC (協定世界時 : Coordinated Universal Time) とUTCとの時間差

エラーメッセージ (つづき)

■ ワーニング情報の表示

- ワーニング発生時は、ワーニングメッセージを表示します。
ワーニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、サーチスティックを上下に動かすと各内容を確認することができます。

■ ワーニングメッセージ

優先度	モニター表示	内容	対処方法	VTRの動作
高い ↑ ↓ 低い	E-04 (UNKNOWN SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースから入力された信号がDVCPRO/DVフォーマットではない場合に表示されます。	1394入力が正しく接続されていることを確認してください。	記録動作不可
	E-11 (NOT 1×25M SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースからの入力信号が、DVCPRO、DV (25 Mbps) フォーマットの1倍速転送信号以外の場合に表示されます。	1394入力信号を確認してください。	記録動作不可
	E-12 (NOT 1×50M SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースからの入力信号が、DVCPRO50 (50 Mbps) フォーマットの1倍速転送信号以外の場合に表示されます。	1394入力信号を確認してください。	記録動作不可
	E-16 (INVALID VIDEO SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースから入力された圧縮ビデオ信号が不正規な場合に表示されます。 • ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、テープへの記録は行われず、消去動作のみが行われます。	1394入力信号を確認してください。 記録されていないテープの再生信号が入力されている可能性があります。	動作継続不可
	E-17 (INVALID AUDIO SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースから入力されたオーディオ信号が不正規な場合に表示されます。 • ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、オーディオはミュート記録されます。	1394入力信号を確認してください。 1倍速再生以外のVTR等から信号が入力されている可能性があります。	動作継続不可
	E-18 (INVALID TC SIG)	IEEE1394デジタルインターフェースから入力されたタイムコード情報が不正規な場合に表示されます。 • ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、内部発生されたタイムコードが記録されます。	入力している機器のタイムコードを確認してください。	動作継続不可
	E-92 (1394 INITIAL ERROR)	IEEE1394デジタルインターフェースの接続状態が不正規な場合に表示されます。	ケーブル接続がループになっていれば、1対1に接続しなおしてください。 ループ接続でない場合には、POWERスイッチOFF→ONにしてください。	IEEE1394デジタルインターフェース入出力停止
	E-10 (FAN STOP)	ファンモーターが停止した場合に表示します。	ファンに異物が入っていないか確認してください。	動作継続
	E-09 (NO RF)	再生時、テープのブランク部分を1秒以上検出した場合に表示します。 下記の条件を全て満たしたとき、ブランク部分として認識します。 • 全てのヘッド出力がない。 • 再生データが読み取れない。 • CTLがない。(ただしDV/DVCAMテープを除く。)	テープを確認してください。 記録されていないテープが挿入されている可能性があります。	動作継続
	E-00 (SERVO NOT LOCKED)	再生、記録時にサーボが3秒以上外れた場合に表示します。	テープを確認してください。 525/60方式以外で記録されたテープが挿入されている可能性があります。	動作継続
	E-01 (LOW RF)	再生、記録時にエンベレベルが通常の約1/3の状態を1秒以上検出した場合に表示します。	ビデオヘッドクリーニングを行ってください。	動作継続
	E-02 (HIGH ERROR RATE)	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修整/補間がかかった場合に表示します。	ビデオヘッドクリーニングを行ってください。	動作継続

エラーメッセージ (つづき)

■ エラーメッセージ

モニター表示	内容	対処方法	VTRの動作
E-20 DEW	結露を検出した場合、エラー番号が点滅しEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。 結露が解除されるとエラー表示が消え、VTRは使用可能となります。 • EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 • カセットが挿入されているときに結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。	電源を入れた状態でお待ちください。	EJECT
E-29 FRONT LOAD MOTOR	EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、エラー番号が点滅します。 ノート： カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードに移行します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-31 LOADING MOTOR	アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、エラー番号が点滅します。 ノート： ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード（アンローディングモード）へ移行します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-35 SERVO CONTROL ERROR	サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-37 SERVO COMM ERROR	サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-51 FRONT LOAD ERROR	ローディング途中（ハーフポジション）の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-52 W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態でテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープを巻き取っていない場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-53 WINDUP ERROR	テープ総量検出後、テープ走行中、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なった場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-55 UNLOAD ERROR	アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-57 S - FF/REW TIMEOVER	終始端処理動作が終了しない場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-59 DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモータの回転数が異常に低い場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-60 DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモータの回転数が異常に高い場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-61 CAP ROTA TOO SLOW	キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止

エラーメッセージ (つづき)

モニター表示	内容	対処方法	VTRの動作
E-64 S REEL ROTA TOO FAST	Sリールモータの回転数が異常に高い場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-67 T REEL ROTA TOO FAST	Tリールモータの回転数が異常に高い場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-69 T REEL TORQUE ERR	Tリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-70 S REEL TORQUE ERR	Sリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、もしくは、電流検出抵抗に異常電流が流れていることを検出した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-71 CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-72 REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-73 REEL DIR UNMATCH	巻取り側のリールモータが逆転した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-74 DRUM TORQUE ERROR	シリンダモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止
E-78 M-IF COMM ERROR	メカニズム中継基板とサーボマイコンの通信に異常があった場合、エラー番号が点滅します。	POWERスイッチをOFF →ONにしてください。	停止

ノート:

本機を再起動してもエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

定格

総合

電源 : AC 100-240 V、50/60 Hz
消費電力 : 52 W

は安全項目です。

動作周囲温度 :

5 °C ~ 40 °C

動作周囲湿度 :

10 % ~ 80 % (結露無し)

質量 :

6.8 kg

外形寸法 (幅×高さ×奥行き) :

214×132×434 mm
(セット足、ジャックを除く)

記録フォーマット :

DVCPR050/DVCPR0 フォーマット切り替え

記録ビデオ信号 :

525iシステム

記録オーディオ信号 :

DVCPR050 : 48 kHz 16bits 4CH

DVCPR0 : 48 kHz 16bits 2CH

記録トラック :

デジタルビデオ・オーディオ :
ヘリカルトラック
タイムコードはサブコード領域に記録
コントロール (CTL) : 1トラック

テープ速度 :

67.640 mm/秒 (DVCPR050)

記録時間 :

92分 (AJ-5P92LP使用時)

33分 (AJ-5P33MP使用時)

使用テープ :

メタルテープ

早送り/巻戻し時間 :

3分以内 (AJ-5P92LP使用時)

2分以内 (AJ-5P33MP使用時)

デジタルスロー :

-0.43 ~ +0.43倍速
(DVCPR0、DVCPR050)

テープタイマー精度 :

±1 フレーム (連続CTL信号使用時)

サーボロック時間 :

0.5秒以内 (2Fモード/スタンバイON/セット
アップメニューNo. 012 (SYS FORMAT) とテ
ープに記録されているフォーマットが同一のとき)

ビデオ

■ デジタルビデオ

サンプリング周波数 :

Y : 13.5 MHz、PB/PR : 6.75 MHz (DVCPR050)

量子化 :

8 bits

ビデオ圧縮方式 :

DV-Based Compression (SMPTE 314M)

ビデオ圧縮比率 :

DVCPR050 : 1/3.3

DVCPR0 : 1/5

エラー訂正 :

リードソロモノプロダクトコード

ビットレート :

DVCPR050 : 50 Mbps

DVCPR0 : 25 Mbps

■ デジタル入力/アナログコンポーネント出力

映像帯域 (オプション : AJ-YA93、AJ-YA94G使用時) :

Y : 30 Hz ~ 5.5 MHz (±1 dB)、
5.75 MHz (-2 dB)

PB/PR : 30 Hz ~ 2.5 MHz (±1 dB)、
2.75 MHz (-2 dB)

S/N比 :

58 dB以上 (Y)

Kファクター :

1 %以下 (Y 2T)

Y/PB/PRディレイ :

10 nsec以下

■ ビデオ入力信号

アナログコンポーネント入力 (オプション : AJ-YA93) :

BNC×3 (Y、PB、PR) (VIDEO IN 兼用)

Y : 1.0 V [p-p]

PB/PR : 0.525/0.757 V [p-p] 切り替え
(75 Ω、75 %カラーバー、セットアップレベル
0 %)

アナログコンポジット入力 (オプション : AJ-YA93) :

BNC×1

VIDEO : 1.0 V [p-p] (75 Ω)

リファレンス入力 (オプション : AJ-YA93) :

アナログコンポジット、BNC×2、ループスルー、
75 Ω ON/OFF自動切り替え

SDI入力 (オプション : AJ-YA94G) :

BNC×1、SMPTE259M-C規格に準拠

■ ビデオ出力信号

アナログコンポーネント出力 (オプション : AJ-YA93) :

BNC×3 (Y、PB、PR) (コンポジット出力と切
り替え)

Y : 1.0 V [p-p]

PB/PR : 0.525/0.757 V [p-p] 切り替え

(75 Ω、75 %カラーバー、セットアップレベル
0 %)

アナログコンポジット出力 (オプション : AJ-YA93) :

BNC×2、VIDEO1、VIDEO2

SDI出力 (オプション : AJ-YA94G) :

BNC×1、SMPTE259M-C規格に準拠

モニター出力 :

BNC×1

■ ビデオ調整範囲

ビデオ出力ゲイン :

±3 dB

ビデオ出力クロマゲイン :

±3 dB

ビデオ出力HUE :

±30°

ビデオ出力セットアップレベル :

±14 IRE

ビデオ出力シンク位相 :

±15 μsec

ビデオ出力SC位相 :

±180°

定格 (つづき)

オーディオ

■ デジタルオーディオ

サンプリング周波数:

48 kHz (ビデオに同期)

量子化:

16 bits

周波数特性:

20 Hz~20 kHz \pm 1.0 dB (基準レベルにて)

ダイナミックレンジ:

85 dB以上 (1 kHz、エンファシスOFF、“A” weighted)

歪率:

0.1 %以下 (1 kHz、エンファシスOFF、基準レベル)

クロストーク:

-80 dB以下 (1 kHz、2チャンネル間)

ワウ&フラッター:

測定限界値以下

ヘッドルーム:

20 dB

ディエンファシス:

T1=50 μ sec、T2=15 μ sec (ON/OFF自動切り替え)

■ オーディオ入力信号

アナログ入力 (CH1、CH2、CH3、CH4) (オプション: AJ-YA93):

XLR \times 4、600 Ω /ハイインピーダンス切り替え可能
+4/0/-20 dBm切り替え可能

SDI入力 (オプション: AJ-YA94G):

BNC \times 1、
SMPTE259M-C/272M-A規格に準拠

■ オーディオ出力信号

アナログ出力 (CH1、CH2、CH3、CH4) (オプション: AJ-YA93):

XLR \times 4、ローインピーダンス、
+4/0/-20 dBm 切り替え可能

SDI出力 (オプション: AJ-YA94G):

BNC \times 1、75 Ω 、
SMPTE259M-C/272M-A規格に準拠

モニター出力:

RCA \times 2、600 Ω 、-8 dBV

ヘッドホン出力:

M3、ステレオ、8 Ω 、レベル可変

その他入出力信号

IEEE1394デジタル 入出力:

IEEE1394 6pin \times 1、
400/200/100 Mbps選択可能
IEEE1394-1995準拠
IEC61883-Part1、Part2準拠
SMPTE396M準拠
AV/C Command Set 準拠

タイムコード入力 (オプション: AJ-YA93):

BNC \times 1、0.5~8.0 V [p-p]、10 k Ω

タイムコード出力 (オプション: AJ-YA93):

BNC \times 1、ローインピーダンス、
2.0 \pm 0.5 V [p-p]

RS-422A入出力 (オプション: AJ-YA93):

D-sub 9pin、RS-422Aインターフェース

保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容によりお近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、下記部品は、保証期間内でも使用時間による保証となります。

- ・ DVCPROビデオヘッド：1,000時間
- ・ 消耗・磨耗部品：1,000時間

*磨耗部品とは、

- ・ ビデオヘッド
- ・ ピンチローラー
- ・ 各種プレーキ
- ・ モーター
- ・ ローラー類
- ・ ヘッド類
- ・ その他メカ駆動系部品

■ 補修用性能部品

当社では、デジタルビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス（保守・点検）

定期的なメンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の磨耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる、突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	デジタルビデオカセットレコーダー
品番	AJ-SD93
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

VQT0L53
S0704A0-M ㊞